

地域で広がる 子どもたちの未来③

平成25年度
とちぎ放課後子ども教室推進事業
実践事例集



栃木県教育委員会

はじめに

文部科学省の事業である「放課後子ども教室」は、平成19年度の開始以来、今年度で7年目となりました。今年度の全国的な実施状況を見ますと、実施市町村数は、1090市町村、実施箇所数は10098箇所にのぼっており、年々増加しております。県内では、国の補助事業である「放課後子ども教室推進事業」を活用した教室が9市町に78箇所、市や町が単独で実施している教室が134箇所あります。地域の教育力の低下が指摘される中で、放課後子ども教室は地域の中で子どもたちが安心して活動できる場となっており、今後も全県的に推進して参りたいと考えております。

平成25年6月に閣議決定された、国の「第2期教育振興基本計画」では、教育行政の目指す基本的方向性の第一に「社会を生き抜く力の養成」を掲げています。これは、多様で変化の激しい社会を生き抜くために、子どもたちに個人の自立と協働をはかるための主体的・能動的な力を育成しようとするものであり、この力を育成するためには、これまで以上に、読書活動や様々な体験活動を推進し、子どもたちに多様な学びの機会を提供していく必要があります。また、この力は生涯を通じて身に付けていく力であるとされ、学校教育だけでなく、家庭教育、社会教育も含めた生涯学習環境の充実が不可欠となっています。そうした意味でも、地域の大人が子ども達に学校以外の学びの機会を用意するこの放課後子ども教室の取組は、ますます重要なものとなっていくと考えられます。

本事例集には、放課後子ども教室をはじめとした子どもたちの多様な学びの場づくりに関する様々な取組が掲載されています。それらの取組の中では、伝統文化に関する学習や料理、スポーツ等の生活・文化体験活動、農業体験や昆虫採集等の自然体験活動、ボランティア等の社会体験活動など、多種多様な体験活動が実践され、多様で変化の激しい社会を生き抜くための主体的・能動的な力を子どもたちに育てています。また、そうした様々な活動を実施する中で、子ども同士、大人同士、子どもと大人、そして幅広い年代の人々の交流が行われています。そうした交流の中から地域の絆が生まれ、よりよい地域づくりの第一歩にもなっております。本事例集が、そうした取組をさらに充実させていく一助になれば幸いです。

最後に、本事業の推進に御尽力いただいているボランティアの皆様、各市町教育委員会関係者の皆様をはじめ、御協力いただいているすべての皆様に心から感謝申し上げます。

平成26年3月

栃木県教育委員会事務局生涯学習課長 上田 裕司

目次

はじめに

魅力ある放課後子ども教室を続けていくために P 1

放課後子ども教室とは？ P 2

より良い活動を行うために

～子どもの活動に関わる大人に求められるもの～ P 3

放課後子ども教室における安全管理について P 4

放課後子ども教室の取組【国庫補助事業】

1 富屋小放課後子ども教室【宇都宮市】 P 7

2 峰小放課後子ども教室【宇都宮市】 P 8

3 陽南放課後子ども教室【宇都宮市】 P 9

4 多功ふれあい子どもクラブ【上三川町】 P 10

5 スマイル・ルーム【鹿沼市】 P 11

6 大沢地区放課後子ども教室【日光市】 P 12

7 間小っ子ふれあいひろば【小山市】 P 13

8 乙女っ子なかよし広場【小山市】 P 14

9 豊北まなびの居場所【小山市】 P 15

10 ここなす教室【那須烏山市】 P 16

11 金丸小放課後子ども教室【大田原市】 P 17

12 吾妻小学校区放課後子ども教室【佐野市】 P 18

13 久野・筑波子ども教室【足利市】 P 19

地域における子どもの居場所づくりの取組

14	ふれあい広場【真岡市】	P 23
15	熊倉一区ふれあい交流活動【真岡市】	P 24
16	高勢町子ども育成活動【真岡市】	P 25
17	西小WS（塙・星の宮の宝を育てる会）【益子町】	P 26
18	石橋子どもクラブ『物作りコース』【下野市】	P 27
19	ゴーゴー学び塾『かわいい手創りインテリア』【下野市】	P 28
20	南河内こどもクラブ【下野市】	P 29
21	ちびっこ広場【矢板市】	P 30
22	西の森ふれあいスクール【矢板市】	P 31
23	押小っ子ふれあいスクール【さくら市】	P 32
24	喜小っ子ふれあいスクール【さくら市】	P 33
25	若鮎クラブ【那須烏山市】	P 34
26	ウィークエンド・サークル活動【塩谷町】	P 35
27	フラワーアレンジメント教室【高根沢町】	P 36
28	ネイチャークラブ【那珂川町】	P 37
29	那須の子ども塾-冬（ウィンター）キャンプ【那須町】	P 38
30	東那須野わんぱく少年団元祖わんぱくコース【那須塩原市】	P 39
32	やばっこ 学びの巣【足利市】	P 40

平成 25 年度放課後子ども教室推進事業の

効果及び成果に関する調査結果について	P 41
--------------------	------

栃木県生涯学習ボランティアセンターについて

P 55

魅力ある放課後子ども教室を続けていくために

宇都宮大学教育学部 准教授

栃木県放課後子どもプラン推進委員会 委員長 上原 秀一

放課後子ども教室は、地域の方々の参画を得ながら、放課後や週末等に、子どもたちが安心して安全に活動できる場所を設け、子どもたちに勉強やスポーツ・文化活動、様々な体験活動、地域住民との交流活動等の機会を提供するものです。平成19年度の事業開始以来7年が経過し、それぞれの教室ではコーディネーター等を中心として、地域の人材、自然、施設などといった地域資源をうまく活用しながら、特色ある活動が展開されています。

そうした一方で、開設から長い年月を経過した教室等では、活動のマンネリ化や、運営に関わる人材の固定化、高年齢化等の課題を抱えている教室もあるのではないかと推察されます。「創業は易く守成は難し」と言いますが、魅力ある教室を続けていくことは容易ではありません。充実した活動を続けていくためには、日々の活動を継続しながら新しいことにもチャレンジし、新たに教室に関わる方々を発掘していかなければなりません。こうした役割は、第一義的にはコーディネーターが果たすべきものですが、コーディネーター一人の力では限界があります。学校関係者や保護者も含めて教室に関わる全ての人が、普段からこうした意識を持って、教室に関わっていくことが重要です。そのためには、教室の理念や意義を多くの方に知ってもらう必要があります。学校等と連携しながら、教室通信等の発行、HPの充実等をとおして、PTAや保護者、地域の人々に語りかけていくと良いのではないのでしょうか。

また、活動にかかわる方々が、各市町や、県総合教育センターで実施している研修等に積極的に参加することにより、自らのスキルアップを図ることも大切です。研修の中で、事例発表を聞いたり他の教室の方々と交流したりすることによって、新たな活動のヒントが得られたり、新たな人材の発掘につながる等の効果も期待できます。この事例集や研修等を有効に活用しながら、新しいことにチャレンジすることで、魅力ある教室を続けていただければと思います。

放課後子ども教室は、子どもの学びや体験の場となるだけでなく、そこに関わる大人自身が、活動をとおして自ら学び成長できる場でもあります。今後も放課後子ども教室が、子どもと共に楽しく学び、共に成長することができる場として続いていくことを願っています。

放課後子ども教室とは？

目 的

県内の小学校区において、放課後や週末等に、子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）を設け、地域の方々の参画を得て、子どもたちとともに勉強やスポーツ・文化活動、地域住民との交流活動等の取組を実施することにより、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進するものです。

実 施 体 制

< 県 >

○とちぎ放課後子どもプラン推進委員会（年2回）

県内の総合的な放課後対策の在り方を検討。

○放課後子どもプラン指導者研修

放課後子どもプランにかかわる指導者の資質向上及び各市町における円滑な取組が促進されるよう、事業推進に向けた担当者等の意見交換・情報共有を図る。



< 市町村 >

○運営委員会の設置

放課後子ども教室の活動内容や運営方法等を検討。

○コーディネーターの配置

○放課後子ども教室の実施

放課後子ども教室



※栃木県では、放課後子ども教室の活動を「ふれあい学習」として推進しています。

「ふれあい学習」・・・家庭や地域の教育力の向上を図りながら、地域の様々な人々がこれまで培ってきた経験や技術を生かし合いながら、子ども同士、大人同士、子どもと大人、そして幅広い年代の人々がおこなう交流活動、体験活動、学習活動を「ふれあい学習」として全県的に推進している。



より良い活動を行うために



～子どもの活動に関わる大人に求められるもの～

☆活動の意義を理解しよう

子どもの居場所づくりは、子どもの安全・安心な活動場所を提供するだけでなく、子どもが地域社会の中で心豊かで健やかに育まれる環境を学校・家庭・地域が連携して整備していくものです。それぞれの活動は、**子どものためであり、地域のため、そして自分自身のためであることを認識しましょう。**

☆子どもを理解しよう

活動の中で関わる子どもたちにはいろいろな子がいます。活発な子ども、お話好きな子ども、ものづくりが得意な子ども、お友だちに優しい子ども…。それぞれ得意なこともあれば、苦手なこともあります。**子どもたちの発達や性格には個人差があることを理解しましょう。**



また、子どもの目線に立ち、上手に相づちを打ったり質問したりしながら子どもの話にきちんと耳を傾けたり、上手にほめて子どもたちの意欲を高めて長所を伸ばしたりするなど、**子どもを理解する姿勢を持つことも大切です。**

☆人のつながりをつくろう



活動には子ども、コーディネーター、地域のボランティア、指導者、教員、保護者など、様々な人がかかわります。**同じ活動をしていても、それぞれの経験や立場、環境等によって、ものの見方、とらえ方、感じ方が違います。**「つながり」とは、見方の異なる人たちが一緒にやっていくことです。情報交換の場を設けたり、交流イベントを行う等でコミュニケーションを図ったりすることで、**互いの信頼関係を築きましょう。**

☆地域・学校を理解しよう

活動場所となる地域や学校を理解することは大切です。地域にはどのような人がいるのか、どんな行事を行っているのか、施設、自然、伝統文化などの地域資源にはどのようなものがあるのか等、**アンテナを高くして地域を理解することで活動を充実させることができます。**

また、学校で活動する場合には、先生との情報交換をよく行い、**子どもたちへの対応、先生の動き、学校のニーズ等について理解を深めましょう。**



☆人権を守る意識を持とう

様々な人々と関わる者として、豊かな人権感覚を身につけていることは大切です。相手が不快に感じるような言い方をしていないか、相手の環境や状況に配慮した話をしているか、関わる人々に公平に接することができるか等、**子どもだけでなく、活動仲間や保護者等の大人の人権にも配慮しましょう。**

☆秘密を守ろう

活動を通して、子どもや保護者、学校、地域の人々等についていろいろな情報を得ますが、その中にはあまり好ましくない話や他人には知られたくないこともあるかもしれません。**知り得た秘密は口外せず、きちんと守りましょう。**



逆に、活動の楽しさや子どもたちの素晴らしさ、学校や地域の称賛すべき取組は積極的にPRしましょう。

☆安全対策をしよう

子どもも大人も、安心して気持ちよく安全に活動していくために、**安全対策・危機管理能力を高めることが必要です。**地域を巻き込んだ学習会の実施や、子どもたちとともにルールブックを作成する等、いざというときに対応できるよう準備をしておきましょう。

放課後子ども教室における安全管理について



子ども達が元気に活動する教室においては、怪我や事故等に対する安全管理対策や、災害時に子ども達の安全を確保することが必要不可欠です。ここでは、各教室ごとの安全管理に必要なポイントについてまとめましたので参考にしてください。



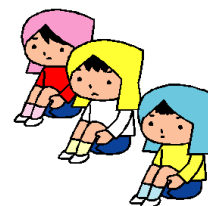
☆安全管理マニュアルを作成しよう

- ・学校では、危険等発生時において当該学校の職員がとるべき措置の具体的内容及び手順を定めた「危険等発生時対処要領」を作成することが、学校保健安全法第29条に定められています。各学校ではこの規定に基づき「災害発生時対応マニュアル」等のマニュアルを定めています。放課後子ども教室においても、学校ごとに定められているそれらを参考に、安全管理等のマニュアルを作成するとよいでしょう。

作成に際しては、文部科学省が作成した「学校防災マニュアル(地震・津波災害)作成の手引き」(文部科学省ホームページからダウンロード可)や、栃木県教育委員会が作成した「学校における防災関係指導資料」(栃木県ホームページからダウンロード可)を参考にしましょう。

- ・放課後子ども教室の運営には多くの地域の方々に参加しています。このことを考慮すると、マニュアルの中心は、安全管理に関する原理原則や要点等を記載した簡潔な内容とし、マニュアルの内容について教室の運営に参加する全ての方が共通理解を図れるようにするとよいでしょう。特に、運営に関わる方々が以下の点について確認できるようにするとよいでしょう。

- ①事前の安全確認の方法 (使用する教室や遊具、活動場所周辺の危険箇所、子どものアレルギー状況等の確認について)
- ②子どもたちの出席確認の方法と、災害発生時等の保護者や関係機関等との連絡方法について
- ③災害等発生時の避難場所の確認と、誘導方法について
- ④災害等発生時の運営スタッフの役割分担について
- ⑤災害等発生時の子どもの保護者への受け渡し方法等について



☆避難訓練や防災学習等を実施しよう

- ・放課後子ども教室においても、活動の一環として避難訓練や防災学習を実施するとよいでしょう。また、実施する際には、運営スタッフと学校の連携はもちろん、保護者や地域の方々(自治会や消防団、自主防災組織)等とも連携して実施すると、さらに効果が高まるでしょう。

☆学校との円卓会議(情報交換会)を実施しよう

- ・マニュアルの整備や避難訓練等の実施には、学校との連携が不可欠です。年に何回かは学校との間で、円卓会議(情報交換会)を実施しましょう。また、円卓会議(情報交換会)の実施は、日頃の活動を充実させるのにも有意義です。普段から学校との積極的な情報交換を心がけましょう。



放課後子ども教室の取組

【国庫補助事業】



富屋小放課後子ども教室【宇都宮市】

実施場所	富屋小学校 ホール・体育館等	小学校区	宇都宮市立富屋小学校
開催日	週1～2回 15時～17時	年間開催日数	61日／年間
参加対象者	1年生～6年生のうち登録児童	参加人数	101人（登録人数）
安全管理員数	12人	学習アドバイザー数	13人
申込み手続き等	全校児童を対象に会員を募集し、登録者は保険料を負担。月別活動予定表から参加したいものを選び、担任を通じて参加申込書を提出。参加費無料（ただし活動内容により実費負担有）。		

【教室の特徴と活動概要】

- * 通称『にこにこ教室』として、主に一斉下校の月曜日と水曜日の放課後に活動しています。
- * 室内での活動は、季節の行事にかかわる工作や、昔懐かしい輪ゴム鉄砲や紙ひこうき、家庭では敬遠されがちなスライム作りなど、新しく挑戦しては定番となる活動が、どんどん増えています。
- * 「地域の先生」にも大変お世話になっており、麦わらで編むホタルかごは地域のお祭りにも出品することができ、この活動を地域の皆さんに関心をもってもらえるよい機会になりました。また、さつま芋の苗植え・収穫・焼き芋まで一連の活動として取り組みました。
- * 子どもの家や学校からも全面的にご協力をいただいております、こちらからも、こまめな報告ができるよう常に心がけています。

☆教えてください、「我が教室のイチオシ！活動」☆

○どんな活動ですか？

どの学年でも開催しますが

- ・低学年はスポーツ教室 ・中学年は工作
- ・高学年はお料理や絵手紙教室など

…に特色をだせるように力を入れています。

学校でもできない、家庭でもなかなか取り組まない、普通の放課後とも違う活動を提供できるよう工夫しています。

○活動を実施する際の学校や地域の人々との連携は？

学校からは、常に理解と応援をいただいております。子どもの家との関わりもあわせて今後も大切にしていきたいと思っております。

地域の特色を生かした活動も、「地域の先生」の全面的なご協力のもと成り立っています。私どもスタッフも地域の皆さんと情報を共有できるよう積極的に地域の行事に参加するなどしています。

★人のつながりを大切に、楽しい活動をしていきたいです★

ホタルかご！
自分で編めるようになったよ！！

自信作に笑顔の5,6年生



秋の収穫を楽しみにさつま芋の苗植え
「元気に育ててね！」

【問い合わせ先】

宇都宮市教育委員会事務局 生涯学習課 地域連携グループ

〒320-8540 宇都宮市旭1丁目1-5 TEL 028(632)2651

峰小放課後子ども教室【宇都宮市】

実施場所	峰小学校 図書室 体育館等	小学校区	宇都宮市立峰小学校
開催日	月、火、金 不定期で土、日	年間開催日数	187日程度/年間
参加対象者	1年生～6年生のうち登録児童	参加人数	223人（登録人数）
安全管理員数	15人	学習アドバイザー数	10人
申込み手続き等	全校児童を対象に会員登録を呼びかけ、登録者は保険料を負担。月別の活動予定表から参加したいものを選び、担任を通して参加申込書を提出。参加費は、基本的に無料。（活動内容によっては、実費負担有。）		

【教室の特徴と活動概要】

- ・峰の寺子屋の愛称で活動しています。校内活動の3本柱（スポーツ教室、そろばん教室、将棋教室）を中心に、コミュニティセンターを使っておこと教室、自然体験活動や農業体験活動を行っています。そろばん教室や将棋教室の時に並行して行っている工作教室で作っている作品は、図書室をはじめ校内各所に飾られ校内美化に役立てられています。
- ・魅力ある学校づくり地域協議会を中心に、各種団体や宇都宮大学、地域サークル等と連携した活動が私たちの特徴です。
- ・安全管理員やボランティアの方々は、地域協議会の委員や地域コーディネーターの方を中心にお願いしています。事業アドバイザーの方は、地域の方が中心です。

☆教えてください、「我が教室のイチオシ！活動」☆

○どんな活動ですか？

峰の寺子屋一番人気は、そろばん教室です。毎回100人以上の参加者でにぎわっています。2年生からの活動ですが、1年生も工作教室や外遊びで参加しています。学年によって下校時刻が違う日に活動しているので、前半に下学年、後半に上学年がそろばん教室を行なっています。

○一回の活動の流れは？

参加者は図書室に集まり、出席を取ります。席が決まっていますので、来た順に自習を始めます。そろったところで一齐に各自のテキストを始めます。適当なところで、読み上げ算を行います。

○活動に必要な準備物は？

- 子どもたちは、そろばんとテキスト、筆記具を用意します。
- コーディネーターは、そろばん教室専用の出席カード、予備のそろばん等。

○指導者は？

以前そろばん教室で指導していた大ベテランの地域の方を中心にそろばんを教えられるボランティアの方、宇都宮大学の学生が指導しています。

○活動を実施する際の学校や地域の人々との連携は？

活動場所確保のために学校がとても協力してくれています。また、教職員の方々が活動に理解してくれています。地域にアンテナを伸ばし活動に取り入れられる情報を常に探しています。地域の方々からの情報は、とても活動に役立っています。

夏休みには、コミセンでそろばん教室！



【問い合わせ先】 宇都宮市教育委員会事務局 生涯学習課 地域連携グループ

〒320-8540 宇都宮市旭1丁目1-5 TEL 028(632)2651

陽南放課後子ども教室【宇都宮市】

実施場所	陽南小学校大会議室・児童会室	小学校区	陽南小学校
開催日	毎週月曜日・月2回金曜日	年間開催日数	50日／年間
参加対象者	1年生～6年生のうち登録児童	参加人数	57名（登録人数）
安全管理員数	10人	学習アドバイザー数	12人
申込み手続き等	入学式後に全児童に募集要項を配布し、保険料（800円）とおやつ代（1400円）を添えて申し込んでもらいます。		

【教室の特徴と活動概要】

年間の計画を3月中に、月曜日を主に工作・スポーツ・出前講座・きっずベースタイム等をバランスよく取り入れて、年間計画を作ります。子供たちには月別の日程表を配布し、参加の有無を把握します。その時に児童欄と保護者欄を作り保護者の参加も受け付けています。毎回何人かの保護者の参加を得ています。工作はなるべく「もったいない運動」を取り入れ牛乳パックを利用しています。

きっずベースタイムは、3つに分かれて活動します。お茶教室・ものづくり・体力作りです。お茶教室は外部から先生に来ていただいて参加者10名でコミュニティセンターを借りて月1回のペースでおこなっています。子どもの家の子供たちも10名ほど参加しているので終了後は学童保育の活動場所までスタッフが送って行きます。

☆教えてください、「我が教室のイチオン！活動」☆

○どんな活動ですか？

子供たちの主体性を尊重し子供たちが自分で又は自分達で何をするかを考えて行動できるように活動しています。帰りの会は子供たちに任せています。スタッフは見守るだけにしています。

○一回の活動の流れは？

pm2:30 スタッフ集合 pm5:00 活動終了 お迎え
 pm3:00 出席確認開始 清掃 戸締り
 自由時間 pm5:30 スタッフ帰宅
 pm3:20 活動に入る

○活動に必要な準備物は？

活動時間が約一時間程度なので工作などはあらかじめパーツをスタッフが用意しておきます。クリスマスリース作り等はドーナツ型に段ボールをくりぬいて用意しておきます。

○指導者は？

（クリスマスリース作り）

月末に翌月の活動内容の確認と打ち合わせをします。コミュニティセンターを借りて材料を準備し、事前に試作と作品作りをした上で誰もが教えられる様にしています。

○活動を実施する際の学校や地域の人々との連携は？

学校・コミュニティセンター・子どもの家には、日程表を配布して何を行っているか分かるようにしています。学校には活動日のタイムテーブルを作り渡しています。活動の開始前と終了後には先生方に挨拶に行きます。校長先生からもアドバイスをいただき参考にして活動しています。今年度は子どもの家のお子さん達と一緒に地域の陽南ふれあい祭りに参加し、楽しい一日を過ごしました。

素敵に出来たでしょう
早く飾りたいな



【問い合わせ先】 宇都宮市教育委員会事務局 生涯学習課 地域連携グループ
 〒320-8540 宇都宮市旭1丁目1-5 TEL 028(632)2651

多功ふれあい子どもクラブ(上三川町)

実施場所	明治南コミュニティセンター	小学校区	上三川町立明治南小学校
開催日	毎週土曜日	年間開催日数	48日/年間
参加対象者	地域の児童 (未就学児は保護者同伴)	参加人数	約5人/1日平均
安全管理員数	23人	学習アドバイザー数	0人
申込み手続き等	当日受付による		

【教室の特徴と活動概要】

毎土曜の午前9時から午後5時までの間、地域のコミュニティセンターを、子どもたちに開放している事業です。

通常日は子どもたちが自由に遊び、学ぶ場であり、管理員が安全管理を行います。

イベント日には、陶芸教室、お隣のお寺に移動しての座禅体験教室、そば打ち教室など、地域の方々に指導員となっていただいております。



☆教えてください、「我が教室のイチオシ！活動」☆

○どんな活動ですか？

クリスマスケーキづくり体験教室

年に一度、子どもたちお待ちかねのケーキづくりです。

○一回の活動の流れは？

以前は当日にオープンレンジでスポンジケーキを焼きましたが、これだと大きいのができないので、今年度は事前に焼いておき（5号サイズ）当日は生クリームとイチゴでデコレーションを楽しみました。



○活動に必要な準備物は？

ケーキに乗せるイチゴは本町産、畑で完熟したいわゆる規格外農産物です。

○指導者は？

地域でパンとお菓子の手作りのお店をやっている方を指導者として本格的にやります。

○活動を実施する際の学校や地域の人々との連携は？

広報や参加受付は学校が担当し、当日の教室は管理員や地域の有志がお手伝いをします。本事業イベント日には、今後は地産地消による食育イベントを中心に展開していきたいと計画中です。（そば打ち、飯盒炊飯等）

【問い合わせ先】 上三川町教育委員会事務局生涯学習課

〒329-0696 栃木県河内郡上三川町しらさぎ一丁目1番地

TEL 0285(56)9159

スマイル・ルーム【鹿沼市】

実施場所	北犬飼中学校	小学校区	北犬飼中学校、津田小学校、池ノ森小学校、さつきが丘小学校、石川小学校
開催日	隔週水曜日・日曜日	年間開催日数	26日/年間
参加対象者	小中学生	参加人数	25人
安全管理員数	4人	学習アドバイザー数	7人
申込み手続き等	毎月チラシを配布し、申し込みを受け付けます。		

【教室の特徴と活動概要】

北犬飼中学校食堂・体育館を使用しています。忙しい中学生の「居場所」であり、小学生は、いずれ入学する学校ですので、冒険心を持って参加しています。日本の伝統文化のお茶を学校の授業の中で全員体験しますので、その予習・復習となっています。簡単なお作法を身につけ、いつでも、どこでもお茶席を体験してもらえるように、楽しい雰囲気でお作法を学習しています。



また、体育館では、友だちと楽しくバスケットボール、バレーボールを行なっています。

小中学生の元気あられる様子を見てみると、私たち大人も元気になれます。

☆教えてください、「我が教室のイチオシ！活動」☆

○どんな活動ですか？

- ・教室では、茶道、フラワーアレンジメント、自由遊び
- ・体育館では、いろいろなスポーツに挑戦

○主な活動の流れは？（茶道）

- ・元気な声であいさつをして部屋に入ります。
- ・手を洗い、座席に着きます。
- ・茶菓子を作法に従い受け取り、いただきます。
- ・自分でお茶をたてます。
- ・作法を確認しながらお茶をいただきます。
- ・きちんとあいさつをします。
- ・お茶碗を洗い、片づけします。
- ・元気な声で帰りのあいさつをします。

○活動に必要な準備物は？

- ・お茶の道具は、市で購入していただきます。

○指導者は？

- ・スタッフの中に茶道、華道の指導者がいます。

○活動を実施する際の学校や地域の人々との連携は？

- ・中学校は、生徒へのチラシ配布を行なってくれます。

また、教職員も時間があるときには、一緒に参加してくれます。

地域の方も、フラワーアレンジメントに参加し、中学生との交流を楽しみにしています。

- ・お茶が大好きになったので、毎週でもやりたいです。
- ・毎回お茶を5杯飲みます。



【問い合わせ先】 鹿沼市教育委員会事務局 生涯学習課 TEL 0289 (63) 3498 FAX 0289 (63) 8325

大沢地区放課後子ども教室【日光市】

実施場所	大沢公民館	小学校区	日光市立大沢小学校
開催日	毎週月・水曜日 15時～17時	年間開催日数	67日/年間
参加対象者	大沢小学校児童	参加人数	25人（登録人数）
安全管理員数	1人	学習アドバイザー数	3人
申込み手続き等	大沢小学校全児童に募集用紙を配布し、抽選により決定。 参加費年間700円の保険料の他、お茶会や調理体験など1回100円		

【教室の特徴と活動概要】

大沢公民館の図書コーナー・中庭・和室・調理室・体育館・周辺の野山で活動しています。活動内容は、毎回の学習の後、野外活動、体育館活動、遊び的体験活動、調理体験活動、季節のイベント、創作活動、伝統文化体験活動などの体験できるように、話し合って予定を組みます。

1年生から6年生までバランスよく、また男女比も同じくらいになるようにしているため、年上の子が年下の子に宿題を教えたり声を掛けて仲間に入れたり、とても仲良しです。

新聞紙バルーン



高知山ハイキング



とうふ団子作り



お小遣いゲーム



やさいも



お茶体験



ユニカール



馬跳び



しゃぼん玉



裁縫



地域で活動している団体に指導や手伝いをお願いすることもあります。保護者や学校の先生からは、「子ども教室のある日は、子どもたちが朝から楽しみにしています」と言われています。

【問い合わせ先】 日光市健康福祉部 子育て支援課 TEL 0288(21)5186 FAX 0288(21)5105
〒321-1292 日光市今市本町1番地

間小っ子ふれあいひろば【小山市】

実施場所	小山市立間々田小学校 校庭・あじさいホール他	小学校区	小山市立間々田小学校
開催日	毎週水曜日 授業終了後～16:30 <11～3月は16:00まで>	年間開催日数	26日/年間
参加対象者	1～6年生（全児童対象）	参加人数	140人
安全管理員数	13人	学習アドバイザー数	13人
申込み手続き等	学校を通じて配布される参加申込書に、スポーツ安全保険料（参加条件）を添えて受付日に申込。必要に応じて教材費の自費負担有り。		

【教室の特徴と活動概要】

- 教室の特徴
 - ・活動の場が多い(校庭、あじさいホール、ピロティ、図書館、体育館、児童活動室等)
 - ・児童数、スタッフともに多く、活動内容が多種多様で充実している
 - ・学童保育の指導員もスタッフとして参加している
- 活動の概要
 - ・子どもの自主的な遊びを中心に、スタッフの大人の方々とふれあいなど、異年齢集団の中での交流活動
 - ・地域の人材を活かしたスポーツ、文化活動、創作活動(手芸、工作など)
 - ・全員でいっしょに遊ぶ場の設定(1年生歓迎レクリエーション、新聞紙ドーム作成など)

☆教えてください、「我が教室のイチオシ！活動」☆

○どんな活動ですか？

子どもたちの創意工夫を含め、多種多様な活動が可能である。子どもたちはその中から自由に選択し、変更もできる。大きくは、校舎内活動と外活動が主体となる。加えて、子どもたちの希望や、大人たちのアイデアをもとに、ひろばの全員が参加するイベントも企画・実施している。

いつもはできないことや、今まで知らなかったものがいっぱい。みんなで作った新聞紙ドームは、とっても大きくてびっくり！

○一回の活動の流れは？

- 14:00 指導スタッフ集合、活動準備
- 15:00 参加児童集合（あじさいホール）⇒活動開始
- 16:30 あとかたづけ⇒活動終了
(11月～3月は16:00)
- 16:40 ミーティング（反省会）
- 17:00 スタッフ解散

○活動に必要な準備物は？

子どもたちの希望に沿って、スタッフの方が用意してくれたり、メニューによって対応している。

○指導者は？

コーディネーターや地域のボランティア、学童保育のスタッフ、学校支援ボランティア、交通指導員の方などが、学校と連携を取って指導にあっている。

○活動を実施する際の学校や地域の人々との連携は？

児童の安心・安全、楽しく有意義な活動を目指し、学校やスタッフ、学童保育の方々と交えて、運営会議を開催し、反省、改善を図っている。特に、児童指導については、学校側と話し合い、共通理解のもとに、自由な活動の中にも守るべきルールを設け、子どもたちの活動を見守っている。



【問い合わせ先】

小山市教育委員会 生涯学習課 青少年係 TEL 0285 (22) 9667・9671 FAX 0285 (22) 9696

乙女っ子なかよし広場【小山市】

実施場所	小山市立乙女小学校 校庭・体育館・英語教室他	小学校区	小山市立乙女小学校
開催日	毎週木曜日 授業終了後～16:10	年間開催日数	26 日／年間
参加対象者	1～6年生（全児童対象）	参加人数	72人
安全管理員数	8人	学習アドバイザー数	9人
申込み手続き等	学校を通じて配布される参加申込書にスポーツ安全保険料（参加条件）を添えて受付日に申し込み。必要に応じて教材費の自費負担有り。		

【教室の特徴と活動概要】

- 教室の特徴 ・限られた条件の中で、子どもたちとスタッフが創意工夫している。室内遊びと、校庭での外遊びが基本となるが、子どもたちの希望を聞いたり、大人が遊びの提案をすることで、乙女っ子ならではの目指して活動している。
- 活動概要 ・子どもたちの自主的な遊びをとおり、学年を越えた交流を図り、スタッフなど大人の方々とのふれあいを体験する。
・地域の人材を活かしたスポーツ、文化活動、創作活動(手芸など)をする。
・全員でいっしょに遊ぶ機会を設ける(一年生歓迎レクリエーション、チャレンジランキングなど)

☆教えてください、「我が教室のイチオシ！活動」☆

○どんな活動ですか？

子どもたちの発想に合わせて活動内容は臨機応変に変化する。スタッフの方からも新しい遊びや伝統的な遊びを提供し、共に活動する。本年度の活動では、季節にちなんだ遊び（カルタ取りなど）を紹介したり、広場のみんなで楽しめる企画（チャレンジランキングなど）にも挑戦した。

○一回の活動の流れは？

- 14:00 指導スタッフ集合・活動準備
- 15:00 参加児童集合⇒活動開始
- 16:10 あとかたづけ⇒活動終了
- 16:20 ミーティング（反省会）
- 17:00 スタッフ解散

○活動に必要な準備物は？

子どもたちの希望に沿って、スタッフの方々が用意してくれたり、メニューによって対応している。

○指導者は？

コーディネーターや地域のボランティア・スタッフなどが学校と連携を取って指導にあたっている。

○活動を実施する際の学校や地域の人々との連携は？

児童の安心・安全、楽しく有意義な活動をめざして、学校やスタッフ・ボランティアの方々と交えて、運営会議を開催し、話し合い、改善を図っている。特に児童指導については、学校側と話し合い、共通理解のもとに、自由な活動の中にも守るべきルールを設け、子どもたちとの信頼関係を深めながら活動を見守っている。

乙女っ子には楽しいことや、知らないことがいっぱい。みんなでやったチャレンジランキングは、優勝めざしてがんばりました♪



【問い合わせ先】

小山市教育委員会 生涯学習課 青少年係

TEL 0285 (22) 9667・9671

FAX 0285 (22) 9696

豊北まなびの居場所【小山市】

実施場所	黒本公民館	小学校区	小山市立豊田北小学校
開催日	長期休業日（夏季・冬季・春季）	年間開催日数	41日／年間
参加対象者	全学年	参加人数	30人
安全管理員数	22人	学習アドバイザー数	1人
申込み手続き等	学校を通じて配布される参加申込書に、スポーツ安全保険料（参加条件）を添えて申し込み。必要に応じて教材等の実費負担あり。		

【教室の特徴と活動概要】

長期休業中や放課後に活動しています。子どもたちが安全で安心して活動できる居場所をつくり、自然体験（野菜の収穫、稲作体験、生き物調査）、地域の方々とのふれあい、昔あそび、調理活動、おはやし、工作など家庭の中ではできない体験ができるよう工夫しています。

卒業した中学生や高校生、地域の方々協力していただき、未就学児も遊びに来る集いの場にもなっています。

☆教えてください、「我が教室のイチオシ！活動」☆

○どんな活動ですか？

いろいろな体験ができるよう長期スケジュールをスタッフで出し合い、子どもたちに人気の高い体験を入れ、メリハリのある活動になるよう工夫しています。

○活動の流れは？

ある夏休みの1週間スケジュール

月日	曜	内容
7/22	月	開所式・お楽しみ会／プール
7/23	火	自主学習・絵画宿題（下書き）／プール
7/24	水	楽しい手芸（とうがらし）／折り紙・ボール遊び
7/25	木	絵画宿題（色塗り）／ボール遊び
7/26	金	生き物調査参加／プール

○活動に必要な準備物は？

長期休み中の宿題や、体験学習で使用する準備物は前もって各自で準備できるよう、お知らせを作成しています。

○指導者は？

学習アドバイザーを1名置き、活動日ごとに安全管理員の募集を参加父母の方々に行い、学習アドバイザーの補助をお願いしています。

○活動を実施する際の学校や地域の人々との連携は？

学校から活動案内の配布をお願いし活動内容を報告、地域のいきいきふれあいセンターとの交流活動、黒本子どもお囃子会と一緒にデイサービス訪問なども行っています。



－ 折り紙教室 －



－ みんなで流しそうめん －

【問い合わせ先】

小山市教育委員会 生涯学習課 青少年係 TEL 0285 (22) 9667・9671 FAX 0285 (22) 9696

ここなす教室【那須烏山市】

実施場所	コミュニティーひろば BonBon	小学校区	烏山小学校
開催日	土曜日 13:30~15:45	年間開催日数	3日/年間
参加対象者	小学校 1~6年生	参加人数	11人（募集定員12人）
安全管理員数	4人	学習アドバイザー数	4人
申込み手続き等	小学校の協力を得て募集チラシを配布、回収。定員を超えた場合は抽選で決定。費用は保険料とおやつ代で、教室参加時に集金。		

【教室の特徴と活動概要】

- ・平成25年度新規事業としてテスト教室3回を開催。平成26年度は、一年間をとおした活動に取組みます。
- ・教室は、『①支えなければならない子供たちを地域で育てる・②子育て支援における那須烏山市の連携を作り出す・③次世代の教育的課題を地域住民の参画・協働によって解決する糸口を見出す・④地域資源の活用から生きがいを創り出す』ことを目指しています。
- ・“ここなす教室”は、同じ年に誕生した那須烏山市のキャラクター“ここなす姫”にちなんで名づけています。（ちなみに、“からすまる”“やまどん”がお供と一緒にです）



☆教えてください、「我が教室のイチオシ！活動」☆

※平成25年度は、“テスト教室”として実施しています。

○どんな活動ですか？

- ・室内遊び（オセロやトランプなどのゲーム）と屋外活動（まちかど探検隊）で、市民とのコミュニケーションを図る活動や自然ふれあい体験を実施。
- ・次年度からは学習支援（学校の宿題程度）も行う予定。



○一回の活動の流れは？

- ・主任学習アドバイザーの主導で、あらかじめ決めた活動内容を実施。
- ・活動内容は、検討部会（運営委員会の下部組織）で検討し作成。
- ・受付→前半→休憩→後半→振り返り→解散。



○指導者は？

- ・スタッフは、地元の教員OBや学生等のほか、学童クラブ指導員の協力を得ています。今後、PTAなど地域との関わりを広げていきたいと考えています。
- ・ボランティアスタッフ（愛称：‘やまどん’さん）も広く募集し多くの人に関わる場になることを考えています。



【問い合わせ先】

那須烏山市教育委員会事務局 生涯学習課生涯学習担当 TEL 0287(88)6223

金丸小 放課後子ども教室【大田原市】

実施場所	金丸小 図書室・多目的ホール	小学校区	金丸小 学校
開催日	毎週月～金曜日 13時～18時	年間開催日数	240日/年間
参加対象者	1年生～3年生	参加人数	登録人数11名
安全管理員数	2人	学習アドバイザー数	2人
申込み手続き等	市生涯学習課において周知、申込受付対応。 参加費：月額6,000円、長期休業日：日額300円、保険料：年額800円		

【教室の特徴と活動概要】

○一日の流れ

出席確認（その際、指導員は連絡事項の伝達、子どもたちの体調やお迎えの状況の確認を行う）→図書室にて宿題→おやつ（16時を目安に指導員が準備、16時30分頃までに食べ終わるようにする）→お迎えまでは自由時間（外遊びや室内遊びなど個々に好きなことを行う）

○一年間の活動（大きな行事）

1年生歓迎会（4月）

1年生が上級生や指導員の名前を覚え、教室の生活に馴染めるように実施

お誕生会（年2回）

前期・後期に分けて実施

3年生お別れの会（3月）

教室を卒業する3年生とのお別れの会を実施

※いずれの行事においても、なぞなぞやビンゴゲームなどの楽しい活動を取り入れながら実施している。

☆教えてください、「我が教室のイチオシ！活動」☆

○どんな活動ですか？

「スポーツチャンバラ」

○一回の活動の流れは？

市スポーツ振興課職員から、ルールや基本の技の説明を受ける。ルールが理解できたら、二人一組になり試合をする。（試合は、頭に紙風船を付け、柔らかい剣で相手の紙風船を割る。）

さらに、子供全員対大人（先生）との試合等も行う。試合は、その時の参加者のレベルに合わせて様々なアレンジできる。

○活動に必要な準備物は？

市スポーツ振興課が準備

○指導員は？

市スポーツ振興課職員

○活動を実施する際の学校や地域の人々との連携は？

市スポーツ振興課には、市生涯学習課から依頼してもらおう。学校との連絡調整は、指導員が行う。

エイ！ヤー！
とても楽しいから、もっと
試合したいよ！



【問い合わせ先】 大田原市教育委員会事務局 生涯学習課

〒324-0492 大田原市湯津上5-1081 TEL 0287(98)7115

吾妻小学校区放課後子ども教室【佐野市】

実施場所	吾妻小学校ランチルーム体育館	小学校区	吾妻小学校
開催日	火曜日	年間開催日数	20日/年間
参加対象者	1年生児童	参加人数	23名
安全管理員数	23人	学習アドバイザー数	10人
申込み手続き等	新一年生を対象にして実施するので、一日入学時に説明し全員参加		

【教室の特徴と活動概要】

1年生が、高学年と下校するまでの待ち時間の間、行っています。子どもたちは、ランチルームにランドセルを背負ってやってきて、安全管理員さんとあいさつをした後、好きなことを行います。ブロック遊び、お絵かき、折り紙、読書、かるたとり、なわとび、こままわしなど、それぞれ、好きなことをします。もちろん、宿題を終わらせてから遊ぶ子もいます。



また、室内から飛び出して、体育館で、「クリケット」で、楽しむこともあります。クリケット協会の方に年2～3回程度来てもらい、全国大会出場選手に、手ほどきを受け、汗を流しています。

☆「我が教室のイチオシ！活動」☆

クリケット楽しかったあ～
またやりたいな～ 次はいつ？

○どんな活動ですか？

とにかく子どもたちが、安全に・自由に・仲良く・子どもらしく遊んでくれたら、いいのです。たまに喧嘩をしても、すぐに仲直りができる。泣いている子がいたら、声を掛け合える。教え合える。そんな居場所にしています。



○活動に必要な準備物は？

特に何も用意しません。ランチルームには、放課後子ども教室用の教材などが置いてあります。本、ブロック、ゲーム、折り紙、こま、なわとび、DVD・・・なんでもあります。



○指導者は？

PTA 役員さんが、学習アドバイザーとして参加しています。安全管理員は、1年生の保護者が当番で来ています。最初は戸惑っている保護者も、「〇〇ちゃんのお母さん、お父さん」と声をかけられる位に仲良くなり、当番の時には、自分の子、他の子どもと関係なく、楽しく遊びます。



○コーディネーターから一言

怪我をしないで子ども同士仲良く遊んでほしい。また参加する保護者同士の交流や情報交換の場にしてほしいと思います。

【問い合わせ先】 佐野市教育委員会生涯学習部生涯学習課 e-mail gakusyu@city.sano.lg.jp
〒327-0398 栃木県佐野市田沼町974番地1 TEL 0283(61)1174 FAX 0283(62)6008

久野・筑波子ども教室【足利市】

実施場所	久野公民館	小学校区	久野小学校・筑波小学校
開催日	原則 土曜日 10時～12時	年間開催日数	24日／年間
参加対象者	久野小・筑波小に通う児童	参加人数	登録人数 69名
安全管理員数	8人	学習アドバイザー数	8人
申込み手続き等	学校をとおして募集チラシを配付。申込みは学校と公民館。参加料は無料、必要に応じて教材費を徴収。		

【教室の特徴と活動概要】

・年間活動内容

No	活動内容
1	開級式 ともだちになろう
2	流しそうめん
3	親子陶芸教室①
4	宿題をやろう①
5	ゲームで環境を学ぼう (市環境政策課)
6	アーチの話 (足工大出前講座)
7	映画会
8	親子陶芸教室②
9	工場見学へ行こう！
10	座禅をやってみよう
11	チョコレートパフェ作り
12	星空観察会
13	わりばしゴム鉄砲作り
14	ドッジボールで遊ぼう
15	速く走るための ランニング講座
16	カレンダー作り
17	フラワーパークで パン作り
18	クリスマス映画会
19	しめなわ作り
20	卓球をやってみよう
21	織姫神社見学
22	QP マヨネーズ教室
23	料理に挑戦！

・月に1～3回、6月～2月にかけて実施。夏休み期間中（No.4～12）は学童クラブと合同で実施。

活動は主に公民館を中心に行いますが、公民館外での活動もあります。スポーツやものづくりなどの体験活動を取り入れ、参加者が楽しめるよう工夫しています。（写真はNo.2流しそうめん）



☆教えてください、「我が教室のイチオシ！活動」☆

○どんな活動ですか？

「しめなわ作りに挑戦！」核家族化でしめなわを飾る風習もなくなってきているため、伝統文化を学ぶよい機会になっています。

○一回の活動の流れは？

9時～ 準備
10時～12時 教室の運営
12時～ 後片付け

○指導者は？

地元の高齢者の方に講師をお願いしています。

○活動を実施する際の学校や地域の人々との連携は？

登録している活動支援者（保護者や地域の方）に呼びかけ、できる限り参加してもらっています。具体的に指示を出すようなことはありませんが、子どもたちが安全に活動できるように見守り、片づけなどを手伝ってもらっています。教室の実施内容について意見をもらい、情報の共有も図っています。



【問い合わせ先】 足利市久野公民館 TEL 0284(71)9028



地域における 子どもの居場所づくりの取組



ふれあい広場【真岡市】

実施場所	山前改善センター	小学校区	真岡市立山前小学校
開催日	原則第2水曜日(4,8月を除く)	年間開催日数	10日
参加対象者	山前小学校児童	参加人数	34名(登録者数)
ボランティア数	のべ70人		
申込み手続き等	年度当初に案内を全児童に配布。5月から活動開始。年度途中からの参加も可能。		

【教室の特徴と活動概要】

- ・会場の準備(勉強部屋・体育館の用意、お茶の準備、受付係の机や名簿等の用意)をしてから、子供達を迎え入れています。2名が山前小学校へ児童を迎えに行き、山前改善センターに連れていきます。
- ・集合後ミーティングを行い、みんなでおやつを食べてから、各自勉強や遊びを始めます。
- ・町会責任者・育成会責任者・ふれあい広場親の会員を子供達の活動場所に配置します。大人は活動を見守ったり、一緒に遊んだりしています。
- ・活動内容は、学校の宿題、サッカー、バドミントン、なわとび、テニス、ユニホック、ベーゴマ、オセロ、折り紙、おにごっこ、かるた、工作、絵描きなどです。
- ・終了時間前には全員で片付けをし、保護者の迎えが来た順に帰ります。



☆教えてください、「我が教室のイチオシ！活動」☆

○どんな活動ですか？

元気な山前っ子が育つように、地域の大人が道標となって活動しています。参加児童の保護者には、年1回「ふれあい広場」の活動に必ず参加してもらっています。

○一回の活動の流れは？

保護者の意見を聞きながら、会議(年数回)などの場で話し合います。

○活動に必要な準備物は？

参加児童の希望を聞いて、保護者の集まった会議(年数回)で購入するものを決めます。

○指導者は？

地区の町会責任者・育成会責任者・ふれあい広場親の会の保護者に協力していただいています。

○活動を実施する際の学校や地域の人々との連携は？

児童の確保と保護者の参加、ボランティアの協力だと思えます。そのために、1日入学のときに、学校から「ふれあい広場」の活動を紹介してもらっています。

私が紹介します！

山前小学区青少年健全育成連絡会庶務会計
上原 恵美子 さん

【問い合わせ先】 真岡市立山前小学校

真岡市小林672-2 TEL 0285(82)2527 FAX 0285(83)8067

熊倉一区ふれあい交流活動(真岡市)

実施場所	公民館、八幡公園など	小学校区	真岡小学校・真岡西小学校
開催日	夏休み、行事にあわせて	年間開催日数	1行事1日で5日/年間
参加対象者	子どもから大人まで	参加人数	子ども参加30~70名
安全管理員数	交流役員が安全を確認	学習アドバイザー数	区役員他約15人
申込み手続き等	区内回覧板で参加募集		

【教室の特徴と活動概要】

ねらい：地域住民の子どもたちに自由に参加していただき、皆とのふれあいの場づくり

○流しそうめん大会

- ・企画は交流員を含めて区役員で会議を3~4回行い決定します。
- ・開会前に交流員代表から注意事項を連絡し、子ども代表の「いただきます」の挨拶の後、流し始めます。流し桶は竹で作ります。テントを張り、その下に3レーン設け、子どもも大人も一緒になり、好きなつゆで味わいます。「おいしいね！」の連発でやりがいを感じます。
- ・付属事業として、スイカ割りを低学年の子どもたちで行います。



○寺久保祭(大運動会)

- ・町会別に班を編制し、競技を楽しみます。競技運営は中学生を主体に行います。
- ・幼児から大人まで参加することで、3世代のふれあいで絆が生まれ、大変良いひと時です。
- ・会の終わりに四つ竹踊りを披露し、拍手喝采されます。
- ・付属事業として、焼きそばを婦人会(あゆみの会)の協力で提供されます。



○芋掘り大会

- ・アサガオ科で花も咲くことがあることの説明し、植え方のコツを指導します。
- ・子どもたちが苗植え~つるがえし~芋掘りを行うことで、サツマイモがどのようにしてできるのか過程を知ると同時に自然に触れてもらうことをねらいとします。
- ・付属事業として、「宝探し」「重量当て」を行います。



☆教えてください、「我が教室のイチオシ!活動」☆

○どんな活動ですか?

学校ではできない、やりたくてもやれない子どものことを考えて、皆が楽しく参加できるように企画実施しています。地域の方との交流、3世代の交流の場としていただくように活動しています。

○一回の活動の流れは?

開会式・内容説明・注意事項・行事の開始・子どもたちの感想発表・閉会式・全員で片付けをして解散します。

○活動に必要な準備物は?

必要物は漏れがないように会議で検討し、役割分担を決め徹底させます。

○指導者は?

交流活動員(区役員を含む)、婦人会役員(あゆみの会)、老人会役員(福寿会)、子ども育成会役員が交流員となり、交流員代表を決め、代表の指示で運営します。

○活動を実施する際の学校や地域の人々との連携は?

区役員と地域の組長の協力や、区内の趣味の持ち主や技術を持っている方などの援助をいただき、ふれあい交流と共に楽しく活動しています。

私が紹介します!

熊倉一区 区長 山崎 和雄 さん

【問い合わせ先】 熊倉一区自治会 TEL 0285(82)8165

高勢町子ども育成活動(真岡市)

実施場所	高勢町中央公園・高勢町公民館 伊勢崎の森・外部公的会場	小学校区	真岡市立真岡西小学校
開催日	春夏冬の長期休業、休日、放課後、 自治会行事日、地子連行事日	年間開催日数	約50日/年
参加対象者	小学生、中学生	参加人数	一事業あたり10~90人
安全管理員数	学習アドバイザーが安全を確認	学習アドバイザー数	71人
申込み手続き等	自治会広報、自治会加入子ども宅に直接、子ども育成会ルート等で募集		

【教室の特徴と活動概要】

- (1) 小学校新入生卒業生の歓送迎会(4月)
- (2) 子どもたちが安心してすごせる地域づくり(平日毎日)
 - ① 登校時の交差点誘導 ② 登下校時の付添い・見守り
- (3) 自治会行事への子どもの参加(8月)
 - ① 夏祭り・子ども御輿登御・子どもお囃子・遊び模擬店
 - ② 盆踊り・子ども司会・子どもお囃子・踊り・金魚すくい
- (4) 県民の森-伊勢崎の森への感謝フェア(8月)

木・竹細工教室(巣箱づくり、竹とんぼづくり、竹笛作り)、炊飯カレー
- (5) 長期休み子支援教室(夏休み・冬休み)
 - ① 書道 ② 吹き矢づくり ③ 万華鏡 ④ ソーラーカーづくり ⑤ 吹き矢遊び
- (6) 世代交流の場(12月)

・餅つき体験
- (7) 6年生の送別会(3月)
- (8) 真岡地区子ども会育成会連絡協議会事業に参加
 - ① スポーツ大会 ② カルタ・輪投げ大会



ケーキ・アイスづくり

☆教えてください、「我が教室のイチオン!活動」☆

○どんな活動ですか?

規約や組織などは緩やかな形のほうがよいと思います。

また、普段いろいろな形で子どもとふれあうことも大切

です。子どもたちに、自分が生活している「地域のおじちゃん」と親しみを込めて認知されることがベースとなると考えます。

○一回の活動の流れは?

子ども会育成会行事、地域子ども推進計画及び自治会行事を基に詳細計画を立てます。

○活動に必要な準備物は?

子ども会育成会行事、地域子ども推進計画及び自治会行事を基に詳細計画を立てます。

○指導者は?

高齢者世代の趣味、楽しみについての活動が25ほどあるので、そのメンバーに呼び掛けることで支援をお願いしています。

○活動を実施する際の学校や地域の人々との連携は?

学校に直接訪問し、連携を図っています。また、上記活動を学校のホームページで配信してもらっています。保護者には、上記の計画及び企画を連絡しています。

私が紹介します!

高勢町区自治会 今井 経夫 さん

【問い合わせ先】 高勢町区自治会 住所:真岡市高勢町1-197

西小WS(塙・星の宮の宝を育てる会) 【益子町】

実施場所	塙自治公民館・小学校グラウンド	小学校区	益子町立益子西小学校
開催日	夏休み・随時	年間開催日数	7+α 日/年間
参加対象者	児童・保護者・地域の方	参加人数	総勢 234人(明細は下表)
安全管理員数	特別に配置なし 0人 但し当日の全体責任者は指名	講師(お手伝い)・PTA	16講座 24人 22人
申込み手続き等	主催の会から学校へ実施計画を提示し、それに基づいて学校が募集する。		

【教室の特徴と活動概要】

西小ワークショップは平成13年に立ち上げ、この間紆余曲折を経て現在に至っている。

学校とPTA及び地域の方達が三位一体となり、夏休みの1週間を児童のために色々な内容の講座を開き、地域の活性化と夏休みを楽しく過ごす為の手助けをしている。

この期間「遊びの広場」を除き日替わりで13講座を開設し、申込制にし、児童は材料費等の実費負担で参加している。

年間を通しては学校から各講師に一年間を前期・後期に分け、開催可能日を確認して、それに基づき児童を募集して、講師の先生の自宅でも開催している。平成25年度は前期・後期7講座53人が参加している。

☆教えてください、「我が教室のイチオシ！活動」☆

○どんな活動ですか？

以下の講座を設け、事前に募集を行い実施している。			参加者
平成25年 7月27日(土)	①	飛ばしてみようプロペラ機	10
7月28日(日)	②	雨巻山で自然と触れ合おう(自然体験)	23
7月29日(月)	③	グラウンドゴルフ	7
	④	地球温暖化と太陽光発電	5
	⑤	フラワーアレンジメント	26
7月30日(火)	⑥	やさしい折り紙遊び	4
	⑦	ミュージック・パーティ(音楽遊び)	22
7月31日(水)	⑧	竹トンボ作り	11
	⑨	親子の料理教室	29
8月1日(木)	⑩	紙飛行機を作って楽しく飛ばす	6
	⑪	読み聞かせ	16
8月2日(金)	⑫	大正琴を弾いてみよう	12
7月27日～8月2日	⑬	遊びの広場(昔の遊びをやってみよう。)	63

参加した子どもの感想等

- ・竹トンボの作り方がわかり、楽しかった。
- ・家の人と料理を作った。出来上がって食べたらおいしかった。
- ・山登りは、たいへんだったけどがんばって登ることができた。



○一回の活動の流れは？

開始時間は9:30～11:50 途中お菓子と飲み物を提供し、休憩の時間がある。雨巻山登山は別途計画あり。

○活動に必要な準備物は？

原則的には講師の先生が準備、補助的なものは参加者が持参。

○指導者は？

小学校区の中で手を挙げた人をお願いしているが、高齢化により講師の後継者育成が今後の課題である。

○活動を実施する際の学校や地域の人々との連携は？

現在の所は非常にうまく運営されているが、PTAの関心と協力を得る事と、地域(自治会等)の理解を得ることが必要である。

今後の方向性として子供会育成会との連携が取れ、一緒にできればより活性化すると思う。

【問い合わせ先】

益子町立益子西小学校 TEL 0285(72)2532

塙・星の宮の宝を育てる会代表 渡辺孝夫(学校支援ボランティア・コーディネーター) TEL 0285(72)0658

石橋子どもクラブ『物作りコース』【下野市】

実施場所	細谷小学校 地域交流室	小学校区	石橋地区各小学校
開催日	10/12、11/9、11/30、 12/14、12/26、1/18	年間開催日数	6日/年間
参加対象者	小学校1～6年生	参加人数	8名（出席率95%）
安全管理員数	1人	学習アドバイザー数	1人
申込み手続き等	新学期が始まって安定した頃(5月)に対象者児童数に『みんなあつまれ』の募集要項を配布する。募集開始後公民館で受付定員になりしだい締め切るが、定員にならないので追加で受け付けた。		

【教室の特徴と活動概要】 リサイクル材、発砲スチロールなどを利用して工作の原理を学ぶ活動を実施。

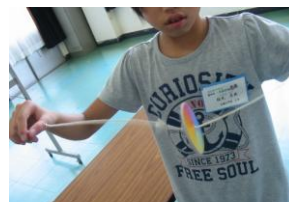
今年度の各回のテーマ内容

- | | | |
|-----|---------------|-----------------------------|
| 第1回 | リサイクル工作 | 牛乳パックを利用してサンバイザー、飛行機、紙トンボ作成 |
| 第2回 | 切り抜き絵画 | 発砲スチロールを熱カッターで切り立体絵画を楽しむ |
| 第3回 | 竹工作 | 竹を曲げる作業と木目を活用した筆立て作成 |
| 第4回 | クリスマスミニツリーの作成 | 牛乳パックと小物打ち抜き材でツリーを作る |
| 第5回 | ミニ門松作り | 竹と畳の廃品を活用してミニ門松をつくる |
| 第6回 | 凧作り | 和紙を活用して凧を作る。 |

牛乳パックのリサイクル工作、紙を切る作業と正確さを教えた。学年が低い為に正確さに乏しい面があり、接着剤の使用方法がわからず、余分につけるために固定が出来ない例が目立った。出来ない所は全部作成することになってしまった。注意事項を聞かずに自分の方法で進めたり、考えたり工夫したりせず、途中で投げ出したりする面もあり、出来上がりに差があった。



竹工作では道具の使い方を教えた。ノコギリ、小刀、加熱等は出来るようになった。門松作りでは、紙ひもの結び方が出来なかった。次の凧作りでも、ひも、糸を結ぶ作業が出来なかった。今後は、基本のひも結びや裁縫の糸結びの行程を先に実施して、練習をする必要がある。



回すと色が消えた！



受講者に左ききが2名いたので、専用のはさみを持参して紙の切り方を勉強した。

子ども達は、発砲スチロールを熱カッターで切ることに興味を示した。竹工作では、熱を利用して曲げる作業と、木目を活用した筆入れを作成した。今回は竹の部分のカットして、矩形的筆入れとした。クリスマスツリーは小物の使用と細かい作業に慣れるように実施したが長時間の細かい作業が出来ず、途中で投げ出してしまう子もいた。ミニ門松は、正月用で、完成品は玄関に置けるものであるが、紙ひもがくくれなくて緩んだ状態になる。理解は出来るが、物をくくる作業は難しく、次の凧作りでも同様で、今後の課題となった。

【問い合わせ先】 下野市石橋公民館 TEL 0285(52)1157 FAX 0285(52)1158

ゴーゴー学び塾『かわいい手創りインテリア』【下野市】

実施場所	下野市国分寺公民館	小学校区	国分寺地区3小学校
開催日	6/8、7/13、9/7、 10/12、11/30、 12/21、1/25、2/15、 3/15	年間開催日数	9 日/年間
参加対象者	国分寺地区小学生	参加人数	16 人
安全管理員数	1 人	学習アドバイザー数	1 人
申込み手続き等	小学校にチラシを配布、公民館窓口で受付。		

【教室の特徴と活動概要】

- ・ゴーゴー学び塾（ボランティア講座）は運営してくれる講師に登録を依頼。（25年度は14講座）。国分寺公民館が事務局となり、年度初めまでに受講生募集のチラシを作成する。新年度4月中旬までに地区の3小学校を通じて、チラシを個別配布する。申込みは公民館で受け付け、受講生が決定したら、各講師に受講生名簿を渡し、運営を委託する。
- ・希望があれば、講師と相談のうえ、市外からの受講生を受け入れている。

☆教えてください、「我が教室のイチオシ！活動」☆

○どんな活動ですか？

季節に応じてかわいい物づくりをする、女の子に人気の体験講座。

○一回の活動の流れは？

一人で一つの物を作り、一回で仕上げる。完成することで達成感を味わい、持ち帰り、飾ることの喜びを実感できる。

○活動に必要な準備物は？

一回毎に材料代が必要になります。材料や下準備は講師がしてくれますので、お子さんは何も用意しなくていいです。

○指導者は？

地域で活躍されているボランティア講師です。

○活動を実施する際の学校や地域の人々との連携は？

受講生募集は、小学校にチラシ配布の協力を頂いています。講座の運営は、講師が最初から最後までしてくれます。

かわいいお正月飾りができました！毎回かわいいインテリアの小物づくりが楽しみです。



【問い合わせ先】

下野市国分寺公民館

TEL 0285 (40) 5563

FAX 0285 (40) 5564

南河内こどもクラブ【下野市】

実施場所	南河内公民館	小学校区	南河内地区小学校（4校）
開催日	月1回土曜日 10時～12時	年間開催日数	5日／年間
参加対象者	3年生～6年生	参加人数	20名
安全管理員数	7人	学習アドバイザー数	7人
申込み手続き等	生涯学習課発行の学習情報誌やチラシにて募集。公民館にて受付。参加費 1,500円		

【教室の特徴と活動概要】

子ども達の理科離れという課題を受け、「ガッテン！科学の芽」と題し、小学生に理科のおもしろさを伝える実験教室を6月～11月（8月を除く）毎月1回開催しています。

市内のボランティア団体「おもしろ理科実験クラブ」のみなさんが講師並びに学級運営を行っています。公民館では、広報活動、応募受付、活動場所の提供（無料）等を担当し、官民の協働事業という側面も持っています。

☆教えてください、「我が教室のイチオシ！活動」☆

○どんな活動ですか？

おもしろい切り口の実験を通して、科学の不思議を学習しています。

○活動に必要な準備物は？

各回に必要な実験材料は、ボランティア団体に準備しています。材料費は参加費で賄っています。

○指導者は？

ボランティア団体「おもしろ理科実験クラブ」のみなさん。医師、獣医師、学校教諭など様々な知識経験を持つ講師陣です。

○活動を実施する際の学校や地域の人々との連携は？

学校には、チラシの配布でご協力いただいています。

地域のシニア世代を中心とした社会貢献活動によるところが大きな事業です。今後も人材発掘に務め市民と公民館の両輪で子どもたちの居場所づくりに貢献できればと考えます。

教室のようす



【問い合わせ先】

下野市南河内公民館 TEL 0285(48)2393 FAX 0285(48)5447

ちびっこ広場【矢板市】

実施場所	矢板市内各所	小学校区	矢板市内全小学校対象
開催日	土・日曜日	年間開催日数	6日（内1回は宿泊）
参加対象者	矢板市内全小学校児童の希望者	参加人数	各回とも定員
安全管理員数	実行委員9人・Jrリーダーズ	学習アドバイザー数	事務局担当者1人
申込み手続き等	学校をとおして全児童に募集チラシを配布する。回収窓口は生涯学習課。		

【教室の特徴と活動概要】

子どもたちの体験不足解消や親子でのコミュニケーションを図ることを目的に、土・日曜日を活用しさまざまな体験活動を実施している。家庭では経験できない体験やふるさとへの思いを親子で育む活動を企画するとともに、指導や支援を行う実行委員も地域のボランティアとすることでふれあい学習の推進を図っている。

☆教えてください、「我が教室のイチオシ！活動」☆

○どんな活動ですか？

【一日一休さん体験】

お寺に宿泊し雑念を払った生活（説法・座禅）を体験することで精神の修養を図る。



【親子たかはら山滝巡り】

地元の「たかはら山」の滝を親子で巡り、コミュニケーションを図りながら郷土を愛する心を育む。

【秋祭りを楽しもう】

失われつつある年中行事に参加し、昔遊びや伝統芸能（お囃子・和太鼓演奏）にふれる。

【親子クリスマスケーキ作り】

クリスマスを前に親子でのケーキ作りをとおりコミュニケーションを図る。

【親子で東日本大震災被災地を訪ねる】

被災地を訪れ現地の避難生活を送る方と交流を図る。



○一回の活動の流れは？（一日一休さん体験の場合）

ちびっこ広場実行委員が企画運営を行う。初日は午後集合とし、説法・座禅・鐘つき・そば打ち・絵手紙体験を行う。2日目は朝の境内清掃・座禅体験を行い午前中で解散。

○活動に必要な準備物は？

就寝に必要なものは参加者が持参するが、その他の備品・消耗品等は実行委員会で準備するとともに、住職の全面的なご理解・ご協力を得て実施している。

○指導者は？

住職・副住職・ちびっこ広場実行委員（ボランティア）

○活動を実施する際の学校や地域との連携は？

学校への負担を軽減するため、募集チラシの配布のみ。講師については地域人材を活用している。

【問い合わせ先】

矢板市教育委員会生涯学習課まなび担当

TEL 0287(43)6218 FAX 0287(43)4436

西の森ふれあいスクール【矢板市】

実施場所	西小学校一時的余裕教室	小学校区	矢板市立西小学校
開催日	月,火,水,木,金 15～18時 学校日程により変更の場合あり	年間開催日数	244日（予定も含む）
参加対象者	西小学校1年生～6年生の希望者	参加人数	20人
安全管理員数	8人	学習アドバイザー数	2人
申込み手続き等	学校をとおして全児童に募集チラシを配布する。回収窓口も学校とするが、参加者の取りまとめ・会計業務等の事務的なことは指導員が行う。 参加費2,000円/月（おやつ代など）		

【教室の特徴と活動概要】

西の森ふれあいスクールは、西小学校の入学児童が減少したことから、「特色ある学校づくり」の1つとしてふれあいスクールを今年度開設しました。2名の指導員と地域住民によるボランティアスタッフ（サポーター）により運営しております。普段の放課後の活動は、児童の宿題や自由遊びにサポーターが関わる形ですが、夏休み等の長期休業中は元教員の「おもしろ科学教室」やジュニアリーダースクラブのメンバーによるバルーンアートやレクリエーションが行われています。

☆教えてください、「我が教室のイチオシ！活動」☆

○どんな活動ですか？

「おもしろ科学教室」。今回は「望遠鏡づくり」に挑戦！

○一回の活動の流れは？

導入：手品のような実験を紹介

準備物確認 ⇒ 作り方の説明 ⇒ 望遠鏡の製作

作った望遠鏡を試してみよう

○活動に必要な準備物は？

空き箱・厚紙・レンズ・のり・はさみ・工作用テープなど

○指導者は？

元教員が講師となり指導員とサポーターが児童を支援

○活動を実施する際の学校や地域との連携は？

長期休業中は、終日「ふれあいスクール」で過ごすため、活動メニューの工夫が不可欠です。学校支援コーディネーターと連携を図り、「出前講座」や「学校支援ボランティア」として登録いただいている地域の方に講師をお願いしています。



夏休みはジュニアリーダースクラブもお手伝い！
子どもたちのお姉さんとして大活躍でした。



【問い合わせ先】

矢板市教育委員会生涯学習課まなび担当 TEL 0287(43)6218 FAX 0287(43)4436

押小っ子ふれあいスクール【さくら市】

実施場所	押上小学校(1年生オープンスペースおよび校庭)	小学校区	押上小学校
開催日	毎週月曜日	年間開催日数	23日/年間
参加対象者	押上小学校 1～6年生	参加人数	28人
安全管理員数	1人	学習アドバイザー数	1人
申込み手続き等	学校を通して配布される申込書を、年間保険料 800 円とともにさくら市生涯学習課に提出する。参加費は無料。		

【教室の特徴と活動概要】

子どもたちの自主性を尊重し、子どもたちが自分で、または自分たちで何をするかを考える自由遊びを原則としている。ボランティアもその中に入って一緒に遊ぶ。ボランティアが、子どもたちにさせたい遊び(季節・行事を考慮した遊びなど)を提供する場合もある。

主な活動

- 昔遊び(お手玉・けん玉・おはじきなど)
- スポーツ(バドミントン・なわとび・サッカー・ドッジボール・固定遊具など)
- カードゲーム(トランプ・かるたなど)
- 美術(折紙・ぬりえ・お絵かき・絵手紙など)
- 手芸(棒編み・鍵編み・リリアンなど)
- 宿題
- その他(オセロなど)



中も外も楽しいよ!

☆教えてください、「我が教室のイチオシ! 活動」☆

○どんな活動ですか?

手作り遊び、編み物や折り紙・工作などの創造的な事から、昔遊びなどの懐かしい遊びも交えて遊んでいます。外では、元気よく走り回ったり、子どもらしい遊びをしています。

○一回の活動の流れは?

出席しているという目印に、各自が自分の名前を書いてあるネームタグを表示してから、子どもたちの意志で遊びのスケジュールを組んで行動しているようです。

宿題→編み物→外でドッジボール、外でドッジボール→室内でオセロ→トランプ、など子どもたちのパターンがあります。

○活動に必要な準備物は?

机、ボール、バドミントンなどの道具、毛糸、色紙など

○指導者は?

ボランティアのサポーターが6～7人で活動しています。他に、保護者の方に毎回2人くらい当番でボランティアに入ってもらい、一緒に遊んでもらっています。

○活動を実施する際の学校や地域の人々との連携は?

学校との連携、協力が無くては活動が成立しないほど、密な関係性だと思っています。

【問い合わせ先】

さくら市生涯学習課 TEL 028(686)6621 FAX 028(686)5368

喜小っ子ふれあいスクール【さくら市】

実施場所	喜連川小学校（体育館）	小学校区	喜連川小学校
開催日	毎週水曜日	年間開催日数	31日／年間
参加対象者	喜連川小学校 1～6年生	参加人数	24人
安全管理員数	1人	学習アドバイザー数	1人
申込み手続き等	学校を通して配布される申込書を、年間保険料800円とともにさくら市生涯学習課に提出する。参加費は無料。		

【教室の特徴と活動概要】

子どもたちの自主性を尊重し、子どもたちが自分で、または自分たちで何をするか考えての自由遊びを原則としている。ボランティアもその中に入って一緒に遊ぶ。

主な活動

- 昔遊び（お手玉・けん玉など）
- スポーツ（バスケ・サッカー・ドッジボール・フットボール・バドミントン・長縄とびなど）
- カードゲーム（トランプ・かるたなど）
- 美術（折紙・ぬりえ・お絵かきなど）
- 手芸（リリアンなど）
- その他（オセロなど）

みんなでドッジボール、
楽しいよ！



☆教えてください、「我が教室のイチオシ！活動」☆

○どんな活動ですか？

1年生から6年生と一緒に楽しく遊んでいる集団活動です。今までは、1年生から3年生までが主でしたが、今年度は、4年生から6年生の児童もおり、上級生が下級生の面倒をよく見て一緒に楽しそうに遊んでいます。内容は、ドッジボール、警ドロ（警察役が泥棒役を捕まえる鬼ごっこ）、長縄跳びなど様々です。ドッジボールを例に説明します。

○一回の活動の流れは？

はじめは、「ドッジボールやる人！」と上級生が言います。やりたい児童が集まったら、チームを決めてジャンケンをし、ジャンケンで勝ったチーム、負けたチームに分かれ、ドッジボールをします。ボールを当てる時、上級生は下級生に優しく当てます。判定でトラブルになった時も、上級生を中心に、自分たちで解決します。勝負がついたら、再びチームを決めてジャンケンをし、2回め、3回めと行います。今年から、そのような集団活動が加わり充実しています。

○活動に必要な準備物は？

ドッジボールのコートは体育館に引かれているラインを利用します。コートの中の隅と中線の両端にプラスチック製の皿状のポイントを6個置きます。

○指導者は？

ドッジボールは、児童の人数が少ない時に、ドッジボールの外野をやる程度ですので、指導者のだれでもできます。従って、手の空いている2人から3人でやっています。

○活動を実施する際の学校や地域の人々との連携は？

ドッジボールに限らず、ふれあいスクールを実施する際には、体育館の鍵を職員室に借りに行ったり戻しに行ったりする時に、校長先生を始め先生方と「ふれあいスクール」での児童の様子について情報交換をしたりして、学校との連携を密にしています。また、ふれあいスクールの児童が参加する運動会や発表会等の学校行事を見学し、児童や保護者、地域の方々と連携を図るようにしています。

【問い合わせ先】 さくら市生涯学習課 TEL 028(686)6621 FAX 028(686)5368

若鮎クラブ(那須烏山市)

実施場所	烏山公民館	小学校区	市内全域
開催日	毎月2回 土曜日9時～16時	年間開催日数	21日/年間
参加対象者	市内に住む小学1年生～5年生	参加人数	31人
安全管理員数	52人(スタッフ)	学習アドバイザー数	52人(スタッフ)
申込み手続き等	おたのしみプラン 子ども体験教室 若鮎クラブ申込書		

【教室の特徴と活動概要】

☆教えてください、「我が教室のイチオシ！活動」☆

○どんな活動ですか？

- ・自然に触れる活動
- ・地域文化を知る活動
- ・異年齢児や地域の異なる子ども同士に触れ合う活動

○一回の活動の流れは？

- ・そのときの活動に応じて活動の流れについては異なります。
- ・中心になるリーダーが活動の流れを考えて、子どもたちをリードしていきます。

○活動に必要な準備物は？

- ・準備品については、事務局とスタッフがそのときにに応じて互いに準備し合うようにしています。

○指導者は？

- ・5年生以上がスタッフになり、各活動でリーダーとしてグループ活動を行うところに大人スタッフが付くかたちで活動を進めています。

○活動を実施する際の学校や地域の人々との連携は？

- ・学校とのかかわりは持ちませんが、地域の人たちとのかかわり合いは活動の全般を通して、大いに触れ合うことで活動が成り立っています。

回	月	日	曜日	内 容 等	場 所
1	5	12	日	開講式、泥んこ体験① 田植え体験	烏山公民館、大橋下地内
2	5	25	土	地域の文化・自然を知ろう！ 戦国ヶ原ハイキングと世界遺産日光	日光
3	6	8	土	地域の自然を知ろう！① 葉っぱ聖人ごっこ	烏山公民館
4	6	22	土	地域の文化を知ろう！① 和紙すきに挑戦！	福田製紙所
5	6	6	土	地域の文化を知ろう！② 世代間交流	烏山公民館
6	7	20	土	地域の自然を知ろう！② 那珂川を知ろう (着衣水泳、飯ごう炊飯、教習法体験)	落石
7	8	3	土	地域の自然を感じよう！ 座禅と滝行(滝あび)に挑戦！	栃木市 高瀬寺
8	8	17	土	俺らが山、茶臼岳へ行く！ 山の自然に親しもう	那須高原自然の家
	8	18	日		
9	9	14	土	地域の自然を知ろう！③ 水遊園で淡水魚を学ぼう	なががわ水遊園
10	9	28	土	地域を知ろう！ 老人福祉施設を訪問して交流会	市内
11	10	13	日	泥んこ体験② 稲刈り体験	大橋下地内
12	10	26	土	地域の文化を知ろう！③ 烏山館でみんなの栃木県庁見学	宇都宮市
13	11	10	日	泥んこ体験③ 収穫祭	七倉公民館
14	11	30	土	スケートに挑戦！	日光露崎
15	12	7	土	伝統文化(絆と白で餅つき)に挑戦！ 歳末防犯懇話(烏山警察署・文吾・消防署)	烏山公民館
16	12	21	土	クリスマスケーキ作りに挑戦！	烏山公民館
17	1	11	土	地域の文化を知ろう！④ ディンプルアートに挑戦！	烏山公民館
18	1	25	土	地域の文化を知ろう！⑤ 焼物に挑戦！	烏山公民館
19	1	8	土	手作りバレンタイン&ホワイトデー！	烏山公民館
20	2	22	土	我ら山の子、海へ行く！ 海浜の自然に親しもう 地引網に挑戦！	とちぎ海浜自然の家
	2	23	日		
21	3	8	土	地域の文化を知ろう！⑥ 手作り弁当を作ろう！ 開講式	烏山公民館



【問い合わせ先】

烏山公民館 TEL 0287(83)1412

ウィークエンド・サークル活動【塩谷町】

実施場所	塩谷町生涯学習センター他	小学校区	町内全小学校
開催日	土曜日 9時～12時（終日も）	年間開催日数	7日／年間
参加対象者	小学生 1年生～6年生	参加人数	43名
安全管理員数	14名	学習アドバイザー数	8名
申込み手続き等	町内全小学生対象にチラシを配布し、町生涯学習センターを窓口にて年間 2,500 円の参加費で申し込む。（主に活動費）		

【教室の特徴と活動概要】

【第1回】 開講式・全体活動「みんなで楽しもう！チャレンジランキング大会」

開講式に併せて、仲間づくりのためのグループ対抗のチャレンジランキング大会を行いました。わりばし落とし・缶積みゲーム・新聞紙乗りなどで盛り上がり、仲良くなりました。

【第2回】 親子活動「親子で楽しもう！Aニュースポーツ・B昭和の遊び」 ※1コース選択

町のスポーツ推進委員さんやボランティアさんに教えてもらいながら、親子のふれ合いを深めました。

【第3回】 ものづくり活動「木工教室」「手芸教室」 ※1コース選択

木工教室では宇大演習林のボランティアさんに「マイ箸づくり」を教えてもらいました。手芸教室では「絵手紙サークル」と「ビーズサークル」ボランティアさんに教わりました。

★教えてください、「我が教室のイチオシ！活動」★

○どんな活動ですか？

ウィークエンド・サークル実行委員及び町ジュニアリーダースクラブ（JLC）が企画会議を年度初めに開催し、協議の上、内容を決定しています。

ものづくり・親子ふれあい・自然体験・交流活動など目的ごとに活動内容を設定しています。

○一回の活動の流れは？

事前に学校の協力を得ながら実施お知らせを配布し、JLCが司会進行をし、テーマに応じて、協力をお願いした地域の指導者が中心になって活動を進めています。

活動中はJLCと指導者が子ども達と関わり作業をしながらふれあい活動になるようにしています。

○活動に必要な準備物は？

名札と活動に応じた材料などです。

○指導者は？

活動に応じて、地域の方々をお願いしています。

具体的には、各種講座終了生やボランティアバンク登録者、様々な情報を総合しての適任者など、多くの町民のみなさんの活躍の場になるように留意して依頼しています。

○活動を実施する際の学校や地域の人々との連携は？

学校には活動の周知に協力をいただき、また地域の方で組織するボランティアである実行委員と、中高生で組織するJLCと連携して実施しています。



【問い合わせ先】

塩谷町教育委員会事務局生涯学習課（塩谷町生涯学習センター内）

塩谷町船生 989-1 TEL 0287(48)7503

フラワーアレンジメント教室（高根沢町）

実施場所	高根沢町改善センター 視聴覚室	小学校区	小学校
開催日	平成 25 年 8 月 4 日	年間開催日数	1 日／年間
参加対象者	町内児童およびその保護者	参加人数	8 家族 16 名
安全管理員数	1 人	学習アドバイザー数	1 人
申込み手続き等	チラシによる周知、電話・メールで申込み、参加費 1 作品 500 円		

【教室の特徴と活動概要】

夏休み！たんたん探検隊事業の一つ。いろんな花に触れて制作を楽しむ中で、花への興味・関心を深め、情緒豊かな心をはぐくむことを目的に実施された。

☆教えてください、「我が教室のイチオシ！活動」☆

○どんな活動ですか？
ドライフラワーを使ったフラワーアレンジメントの作成をします。

○一回の活動の流れは？
講師の先生による簡単な花の説明の後は、自由に作品を作ります。

○活動に必要な準備物は？
すべて講師の先生が用意してくれるので、特に持ってくるものはありません。

○指導者は？
町でアレンジメント教室を開いている先生をお願いしました。保育士の経験もあり、子どもの事を一番に考えて教えてくれる楽しい先生です。

○活動を実施する際の学校や地域の人々との連携は？
チラシの配付は学校経由でお願いしました。今年初めての活動だったので、まずは体験してもらうことで、フラワーアレンジメントの楽しさを知ってもらい、少しずつでも広がっていけばいいと思います。

参加した子どもの感想等

- ・とても楽しく簡単に作れた
- ・先生が優しくてたのしかった
- ・楽しかったので、またやってほしい



【問い合わせ先】

高根沢町教育委員会事務局生涯学習課 TEL 028(675)3175 FAX 028(675)3173
メールアドレス: syougai@town.takanezawa.tochigi.jp

ネイチャークラブ【那珂川町】

実施場所	まほろばキャンプ場、なす高原自然の家	小学校区	那珂川町内全校
開催日	夏季休業中、土・日曜日	年間開催日数	5日／年間
参加対象者	3年生～6年生	参加人数	23人
安全管理員数	3人（事務局）	学習アドバイザー数	延べ7人（講師）
申込み手続き等	各学校対象学年にチラシを配布、生涯学習課に直接申込み。参加費は夏・冬あわせて8,000円。		

【教室の特徴と活動概要】

- ・夏期に2泊3日のサマーキャンプ、冬期に1泊2日の雪山ハイキングを行う、年2回の講座です。
- ・サマーキャンプでは、川での活動を主とし、川遊びやカヌー体験、創作活動を行います。冬期は、なす高原自然の家を利用し、スノーシューでの雪山ハイキングと雪遊びを行っています。

☆教えてください、「我が教室のイチオシ！活動」☆

○どんな活動ですか？

身近にある豊かな自然環境を活用した、自然体験活動を行っています。

1泊～2泊の宿泊学習（キャンプ）の中で、それぞれの活動に応じて講師の先生をお願いし、実施しています。

サマーキャンプでは、地元の高校の先生とカヌー部に所属する生徒さんが指導に協力してくれています。また、町のジュニアボランティアによるキャンプファイヤーも実施しています。



親元を離れての集団生活の中で、仲間と協力しながら「生きる力」を養います。

- ・川で遊んでとても楽しかった。
- ・カヌーはこぎ方で進み方が違う！
- ・川には危険がたくさん隠れていることも学んだ。

○活動に必要な準備物は？

体験活動にあわせて、参加者に準備を依頼します。

ライフジャケットやヘルメットは事務局で保有しているものを貸出、スノーシューやカヌーはレンタルで対応しています。

○活動を実施する際の学校や地域の人々との連携は？

学校には募集チラシ配布にご協力をいただいています。

地域の方との連携では、地域の方を講師に迎え、木や竹など自然のものを使ったものづくり体験をしています。



- ・スノーシューをはくと、雪にうまらないうまらなで歩ける！
- ・木の幹をさわったら、温度が違った。
- ・雪の結晶がきれいだった。

【問い合わせ先】

那珂川町教育委員会 生涯学習課

TEL 0287(96)2116

FAX 0287(96)4545

那須の子ども塾-冬(ウィンター)キャンプ【那須町】

実施場所	なす高原自然の家 ウィンディ那須 ほか	小学校区	町内全小学校より
開催日	平成26年1月11日及び 1月18日～19日	年間開催日数	3日/年間
参加対象者	小学校3年生～6年生	参加人数	28人
安全管理員数	8人	学習アドバイザー数	2人
申込み手続き等	<ul style="list-style-type: none"> ・チラシを作成し、全小学校に配布 ・申込は那須公民館へ集約受付 ・参加費 2,000 円（保険料含む） 		

【教室の特徴と活動概要】

那須町教育委員会では、「子どもたちに夢・感動あふれる豊かな体験を!」を合言葉に、青少年健全育成事業に数多く取り組んでいます。

この冬キャンプでは、町内4公民館の共催事業として、子どもたちの学校間や異年齢集団での交流を目的に、全小学校区に参加の呼びかけを行っています。

子どもたちがスムーズに活動できるよう、キャンプ前には顔合わせ会を行い、アイスブレイクやワークショップなどでお互いを知るところから始めました。

☆教えてください、「我が教室のイチオシ!活動」☆

○どんな活動ですか？

町内の3～6年生が一緒になって楽しく活動ができる冬キャンプ。まずは、当日スムーズに交流や体験ができるよう事前に顔合わせ会を行いました。

○一回の活動の流れは？

- ①「はじめましての会」平成26年1月11日(土)
…アイスブレイクと自己紹介ゲーム及びキャンプ説明
- ②「冬キャンプ」平成26年1月18日(土)～19日(日)
…スノーシュー体験/カレー作り/夜のお楽しみ会/紙飛行機大会

○活動に必要な準備物は？

宿泊セット/雪山でも活動ができる格好(スキーウェア推奨)

○指導者は？

4公民館職員(社会教育指導員含む)及びなす高原自然の家スタッフ

○活動を実施する際の学校や地域の人々との連携は？

学校には募集にあたっての通知配布に協力をもらっています。



【問い合わせ先】

代表:那須公民館 0287(72)6564

その他:高原公民館 0287(76)3764 芦野公民館 0287(74)0002 伊王野公民館 0287(75)0002

東那須野わんぱく少年団元祖わんぱくコース【那須塩原市】

実施場所	東那須野公民館	小学校区	大原間、波立小学校区
開催日	主に土曜日	年間開催日数	28 日/年間
参加対象者	小学 1 年生から 6 年生	参加人数	31 人（登録数）
安全管理員数	職員 2 人	学習アドバイザー数	ボランティア成人 1、大学生 5 人
申込み手続き等	各小学校にチラシを配布、公民館へ申し込む。参加料：2,000 円（保険料その他）		

【教室の特徴と活動概要】

平成 17 年に始まった東那須野わんぱく少年団は「みんなで楽しく、面白く、時にはためになる様々な体験をする」少年団です。今年度は、「元祖わんぱく、料理、いけばな、折り紙、ヒップホップ、表現遊び&こども司書、百人一首ちはやふる、おはやし」の 8 コースで実施しました。その中でも元祖わんぱくコースは、わんぱく少年団らしさを一番体現しているコースです。

今年度の参加者募集のためのキャッチフレーズを「こどもは、みんなわんぱくだ。勉強もスポ少もいいけど、「わんぱく」だね。学校でも家庭でもできないことをコーミンカンでやろう！コーミンカンはみんなのヒミツキチだあ！」としました。自分たちで考え、自分たちで実行し、自分たちで反省、後始末をすることを徹底しています。また、リーダーを中心に、班長、副班長を決め、責任ある行動がとれるよう見守っています。

<主な活動> 飯盒炊飯、軽自動車わんぱく号デザイン、ドラム缶風呂づくり、公民館お泊まり、流しそうめん、段ボールヨロイづくり、ミステリーツアー、国際医療福祉大学祭探検、公民館まつりに出店、公民館清掃参加、公民館もちつき大会、はねつき大会、かるた&ベーゴマ大会、やまいも、カレーライスをつくらう

☆教えてください、「我が教室のイチオシ！活動」☆

○どんな活動ですか？

「公民館に泊まろう」

公民館に 24 時間滞在する。（保護者は参加不可）

自分たちで作ったドラム缶風呂に入る。（男子のみ）

女子は近所でもらい風呂を体験する。



ドラム缶風呂で気分爽快

○一回の活動の流れは？

1 日目：オリエンテーション→段ボールハウスづくり→買い物

→料理→入浴（男子：ドラム缶風呂、女子：もらい風呂）

→映画鑑賞→就寝

2 日目：起床→近所のラジオ体操愛好会に参加→カートンドックの昼食

→清掃→第 2 回水鉄砲合戦→バーベキュー大会→片付け→解散

○活動に必要な準備物は？

着替え、タオル、米 2 合、参加費 1,000 円、洗面道具、毛布か寝袋

○指導者は？

公民館長（レクリエーションインストラクター資格あり）、レクリエーション協会会員、

大学生ボランティア

○活動を実施する際の学校や地域の人々との連携は？

ドラム缶風呂を作るためにガソリンスタンドからドラム缶をもらった。

ドラム缶の蓋を切るのに建設会社に協力してもらった。

女子のもらい風呂は町内の 3 軒に協力をお願いした。

【問い合わせ先】 那須塩原市東那須野公民館

TEL 0287(67)1163 FAX 0287(67)1164

やばっこ 学びの巣【足利市】

実施場所	やばっこ広場(矢場川公民館隣り)	小学校区	足利市立矢場川小学校
開催日	土曜日9時～13時	年間開催日数	概ね15日/年間
参加対象者	矢場川小学校に通う児童	参加人数	平均20名程度
安全管理員数	5人～10人	学習アドバイザー数	5人～10人
申込み手続き等	地区広報誌と小学校をとおしてチラシ配布。申込みは公民館。参加費300円程度。		

【活動概要】

○伝統行事や季節を堪能する活動

- ・たけのこ掘り：季節の旬の味を楽しみたく、筍を自分たちの手で掘り、その筍を使って筍ご飯を竹筒の飯盒で炊きました。

○手作りを楽しむ活動

- ・竹細工：ナタで竹を割いたり、小刀を使って水鉄砲や水笛を作りました。
- ・大凧づくり：切り出してきた地域の青竹を使って、大凧を作る恒例行事。
- ・草餅づくり：みんなでよもぎをとって草餅をつくりました。
- ・ピザ作り：お父さん達のお手製のレンガの釜で、生地をこね、野菜を切り、ピザを焼いて食べました。



ジャガイモを掘ったよ！

☆ 教えてください、工夫やポイント ☆

○活動内容はどのように決めてるの？

‘お酒を酌み交わしながら行う話し合いのひととき’ にアイデアを出し合い、多彩で魅力的な活動に繋がるような内容を決めています。

○学校や保護者との連携を図る工夫は？

年度初めに話し合いを持ち、育成会やPTAなどの既存組織と協力関係を保ち、活動内容が重複しないようにしています。学校や地域を巻き込むことで連携を築いています。

○ボランティア等の協力者を集める工夫は？

これまでの活動プログラムにとらわれることなく、新しい取り組みを積極的に取り入れるようにしています。なにより大人自身が本音で生き生きと人生を楽しみ、子どもたちと共に在りたいという気持ちで集まった脳みそのやわらかい大人たちの姿を見せることで、そこに集う方をゲットしています。

○活動がうまく進むポイントは？

「背伸びせず、できることを未来へ投資（お金は絡みません）し、参加者自身が楽しむことで、活動を継続しネット（納豆よりねばっこい）ワークを広げていきたい。」これが、私たちのモットーですので、居心地の良い地域をつくるために決して無理せず、本物にこだわりながら、子どもたちをはじめ、お年寄りを含む大人たちが日常的に関わることのできる居場所や関係づくりに取り組んでいくことです。

○活動や子どもたちへの想いを一言！

子どもも大人も共に楽しみ、共に学ぶ。
その上で、子どもたちにはたくさんの「体験」を積み重ねてほしいと思います。

【問い合わせ先】 足利市矢場川公民館 TEL 0284(71)2444



平成25年度放課後子ども教室推進事業の 効果及び成果に関する調査結果について



平成25年度 放課後子ども教室推進事業の効果及び成果に関する調査結果について

I 調査概要

1 調査目的・方法・期間

県内の放課後子ども教室の実施状況を把握し、事業の効果を検証するとともに、今後の推進を図るため、質問紙による調査を平成25年11月19日～平成26年1月17日に実施した。

2 調査対象

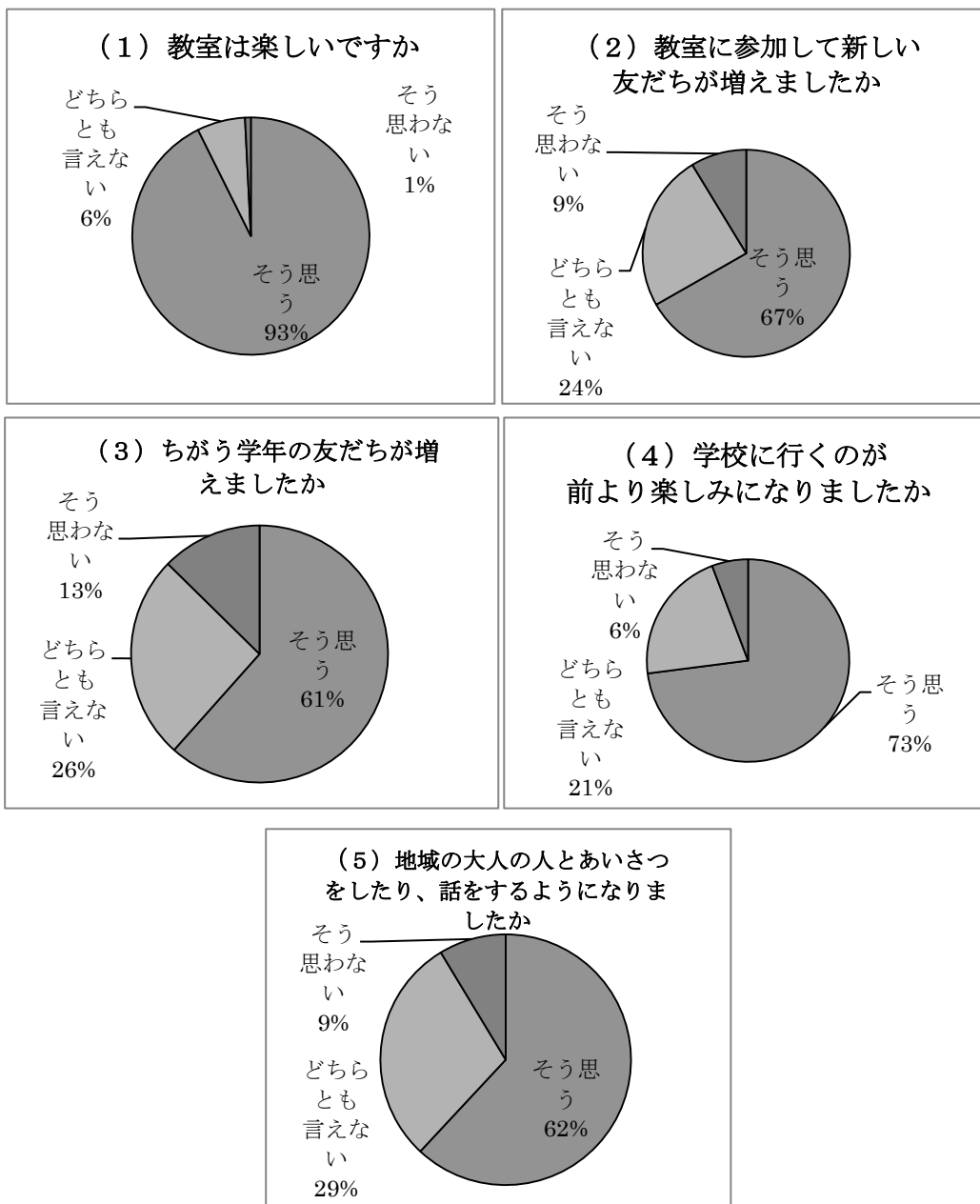
県内放課後子ども教室推進事業実施市町 7市町 18教室

回答数	調査1：子ども	383人
	調査2：保護者	292人
	調査3：安全管理員・学習アドバイザー	142人
	<u>調査4：担当者・コーディネーター</u>	<u>11人</u>
	合計	828人

II 調査結果

○ 調査1：子ども対象

1 放課後子ども教室に参加してどうでしたか。



2 放課後子ども教室で楽しみにしていることは何ですか。

【人との交流】

友達と遊ぶこと みんなで遊ぶこと 地域の人と遊ぶこと 初対面の人と仲良く活動すること
先生やお友達と楽しく活動すること 他のクラスの子と遊んだり話したりできること おしゃべり
学校以外で仲良しの人と遊ぶ 友達が増える 話を聞くこと 別の学年の人達と活動できること

【スポーツなど体を動かすこと】

広場での遊び サッカー 体育館で遊ぶこと ドッジボール 卓球 野球 ドッジビー バスケット
一輪車 リレー 縄跳び

【工作などの活動】

かぶと作り 工作 色々なものを作ること 手芸 工作 粘土 ケーキ作り リース作り 絵手紙
小物作り 編み物 リボン作り ビーズ作り

【室内での遊び】

あやとり お絵かき ゲーム けん玉 トランプ 挟み将棋 ウノ 折り紙 ままごと 鬼ごっこ

【料理等】

お茶会 クッキング ホットケーキ ケーキ作り 柏餅作り 豚汁作り

【その他】

イベント 校外学習 ハイキング クリスマス会 自由遊び 読書 本を読んでもらう
歌をうたう 魚をみる マナビーに会うこと 自然観察 習字 宿題をやること 全部 体験
席替え お楽しみ会 英語教室 たこあげ 竹馬 ブランコ 山登り 家に無いおもちゃで遊ぶ

3 教室でやってみたいことは何ですか。

【人との交流】

みんな一緒にイスとりゲーム ボランティアの方と鬼ごっこ 先生と遊ぶ みんなと仲良く遊ぶ

【スポーツなど体を動かすこと】

ボーリング ボール遊び バスケット テニス サッカー ダンス ドッジボール 大縄跳び リレー
バレー 野球 ミニ運動会 卓球 跳び箱

【工作などの活動】

こいのぼり作り 紙飛行機 編み物 版画 粘土 射的 輪ゴム鉄砲 ビーズ作り ダンボールの家
クリスマスの飾り(リース)作り 色塗り(石など) 実験 新聞紙切り

【室内での遊び】

かるた けん玉 お絵かき トランプ ウノ プラモデル作り 昔の遊び(お手玉・おはじき・ビー玉)
折り紙 ヨーヨー 将棋

【料理等】

お菓子作り ホットケーキ作り チョコバナナやわたあめ作り カレー作り クレープ作り 団子作り
サラダ作り うどんやそば作り ドーナツ作り 餅つき

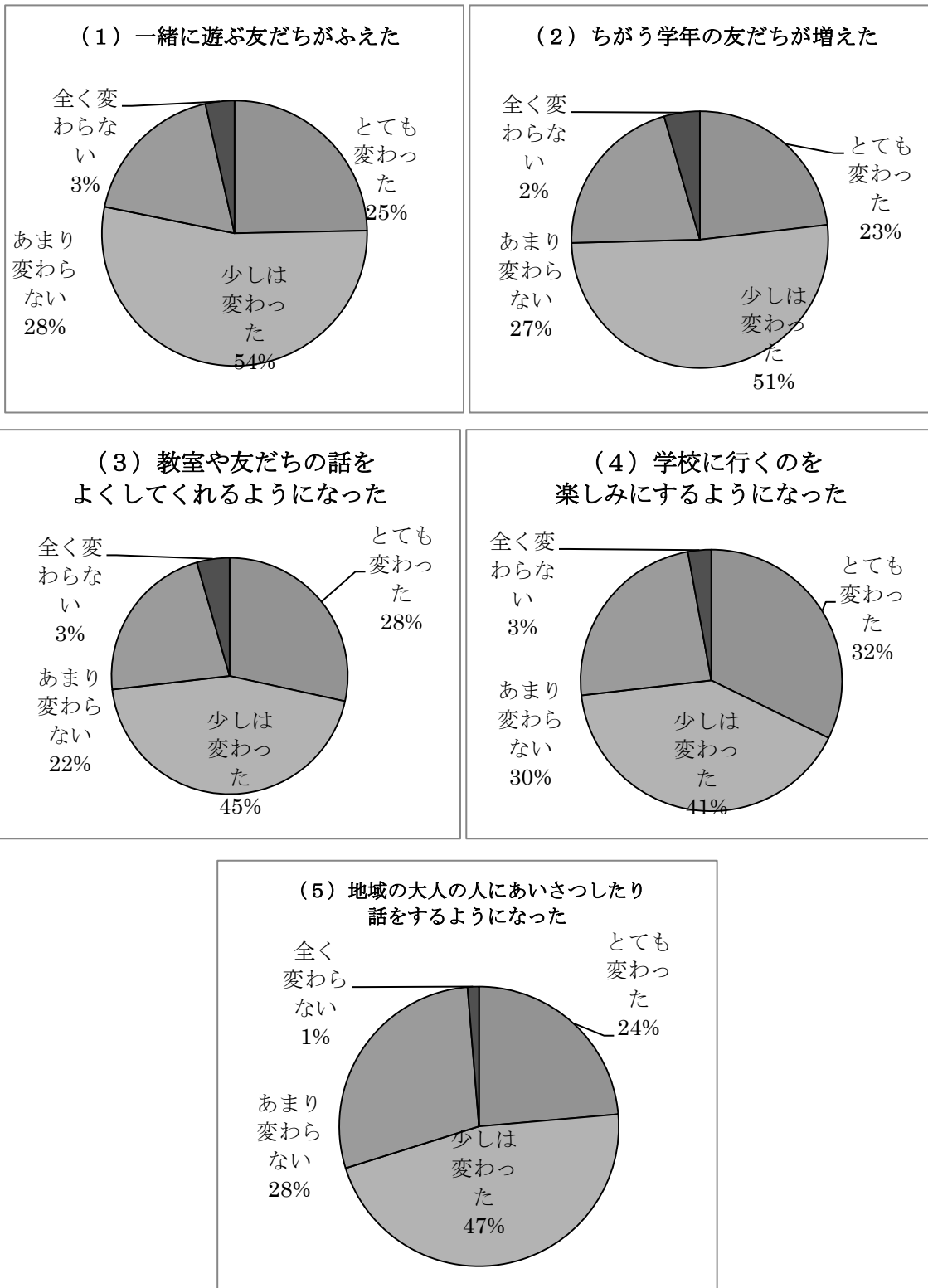
【その他】

いろいろなことにチャレンジしたいので時間を増やしてもらいたい おもしろいこと いすとりおに
鬼ごっこ たこあげ けいどろ 太鼓 動物とふれあう ハイキング パソコン ブランコ 読書 探検
本を読んで欲しい 生物の観察 竹馬 竹とんぼ 英語 ビンゴ 逃走中 かくれんぼ 宝探し 一輪車
魚つり 肝試し 今のままで楽しいので特にない やってみたい事はほぼかなえられている

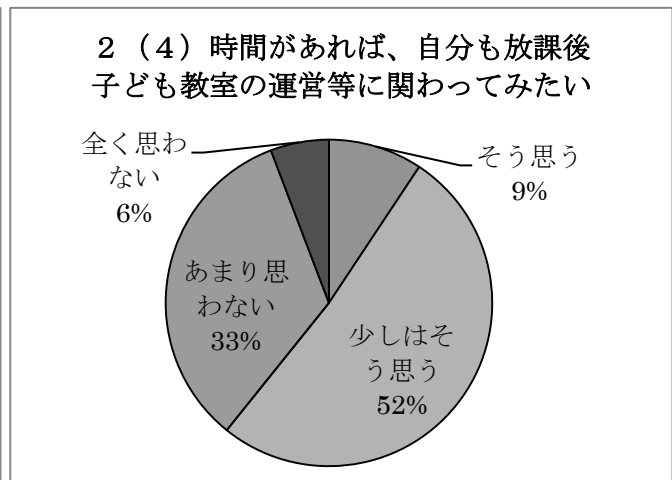
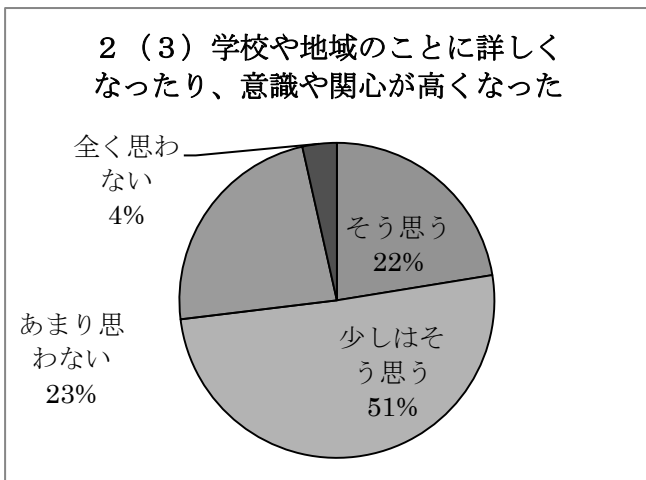
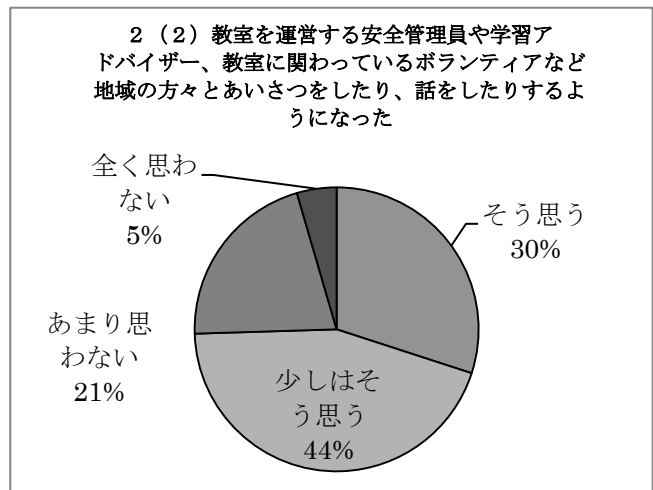
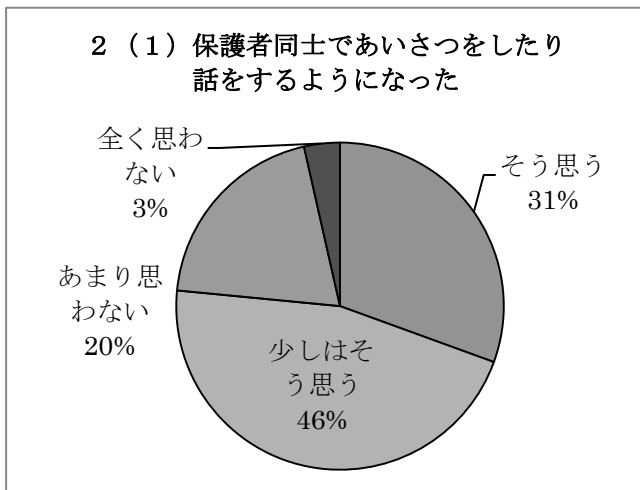
教室に参加している子どもの9割が、教室での活動を楽しみにしている。また、6割以上の子どもが新しい友だちや違う学年の友だちが増えたと回答している。特に、多くの友だちや地域の方々、ボランティアと一緒に活動やふれあいを楽しみにしているようである。また、学校の授業や家庭では十分に体験できないことを教室での活動に期待しており、各教室がそうした機会を多く提供していることがうかがえる。そうした意味で、放課後子ども教室は子どもたちに、体験をとおした学びの機会や、大人も含めた異年齢の人々との交流の機会を提供していると言える。

○ 調査2：保護者対象

1 放課後子ども教室に子どもを参加させて変容は見られましたか。



2 放課後子ども教室に子どもを参加させて、あなた自身に変容はありましたか。



3 教室の運営について

〈成果〉

① 子どもの様子、変化等

- ・学年が上の子達とも楽しく遊んでいます。先生方もいろいろ楽しい遊びを考えてくださるので、娘も教室の時間を楽しみにしているようです。
- ・毎回楽しく行かせてもらっています。人見知りで人前で話をしたりするのが苦手な子でしたがセンターで先生方と楽しそうに話しているのを見て驚きました。地域の大人の人や学年を超えた交流のたまものかなと感謝しています。
- ・いつも本当にありがとうございます。とても素晴らしい事業だと思います。大変なこともあるかと思いますが、続けてください。
- ・毎回楽しく参加させて頂いています。色々な事が経験できて、とても有意義な6時間を過ごさせてもらって、感謝しています。これからもできれば(ずっと)参加できればと思います。
- ・いつも楽しそうに教室に通っています。ボランティアの方々にはとても感謝しています。
- ・「火曜ひろば」をととても楽しみにしています。帰るとひろばであったことも話しています。普段の学校生活ではあまり遊ばないお友達の話をしたときは、とても楽しそうでした。
- ・子どもが楽しく教室に参加できて大変ありがたく思っています。
- ・子どもたちがどんな人とどんなことをしているのか見てみたいと思いました。
- ・帰りは直接学童の先生が迎えに行ってくださいるので、教室の様子は私自身には判らないのですが、楽しく過ごしているように感じます。指導者の方々に感謝申し上げます。
- ・毎回楽しみにしており、楽しく参加させていただきありがとうございます。

- ・普段近所の特定の友達と遊ぶことが多く、同じクラスや学年の子と遊べることはとても楽しいようです。また安心してお願いできるので助かっています。とても楽しみに行かせて頂いています
- ・なかなか子ども同士で遊ばせてあげる機会が無いのでとてもありがたいです。子どもがいつも楽しみにしていて、行くと機嫌が良いです。
- ・教室の時間を楽しみにしているようで、木曜日教室がない日はとても残念そうです。それくらい楽しいようです。親としても地域の方やお母様方と情報を分かち合う時間が持てたこともよかったと思います。
- ・いつもありがとうございます。楽しんでいるようです。
- ・親子3人暮らしなので、ボランティアの方との関わりを楽しみにしています。
- ・安全管理員などの方々の負担が大きくなるようボランティア等で少しでも力になれるよう協力していきたいと思っています。
- ・居場所があるおかげで友達も増え、経験も増え、とてもありがたく思っています。
- ・普段から友達関係や地域の方々への挨拶などは割と良好にできる方だと思うので、特別な変化は感じませんが、異学年の友達の話はよくするようになりました。ボランティアにも参加したいのですが、休みがなかなか取れず残念です

② 活動内容等

- ・毎年、毎年、子供教室の内容が充実してきて子供も喜んでいきます。
- ・工作など、なかなか自分では教えられないのでとても助かっています。今後も参加させたいと思っています。
- ・竹馬や水鉄砲、シロツメクサでの首飾り作りなど昔からある日本の遊びを教えて頂き感謝しています。これからも継続して教えて頂き次世代の子どもたちまで伝えていけたら素晴らしいと思います。

③ 安全管理員、学習アドバイザー、地域ボランティア等

- ・いつもよくみていただき、ありがとうございます。
- ・ボランティアの方には本当に頭がさがります。貴重な体験の数々、宿題の事まで感謝しています。
- ・いつも大変お世話になりありがとうございます。
- ・毎週火曜日の放課後預かっていただき感謝しています！！
- ・いつも丁寧にみていただき大変感謝しています。ありがとうございます。
- ・地域の方々やボランティアの方々のおかげで子どもたちは家では経験できない事などを友達と一緒に学校という安全な場所で行っていただけることはとてもありがたく、感謝の気持ちでいっぱいです。
- ・たくさんのボランティアの方々が子ども達の安全に気を配り、一緒に遊んでくださっていることに感謝しています。

その他

- ・ぜひ続けていただきたいと思います。

〈課題・要望等〉

① 活動内容等

- ・全学年に合う内容の教室を考えるのは難しいと思いますが、参加者が決まってくるように感じるので、検討も必要かと思います。
- ・ほとんど同学年で遊んでいるように思います。

② 運営等

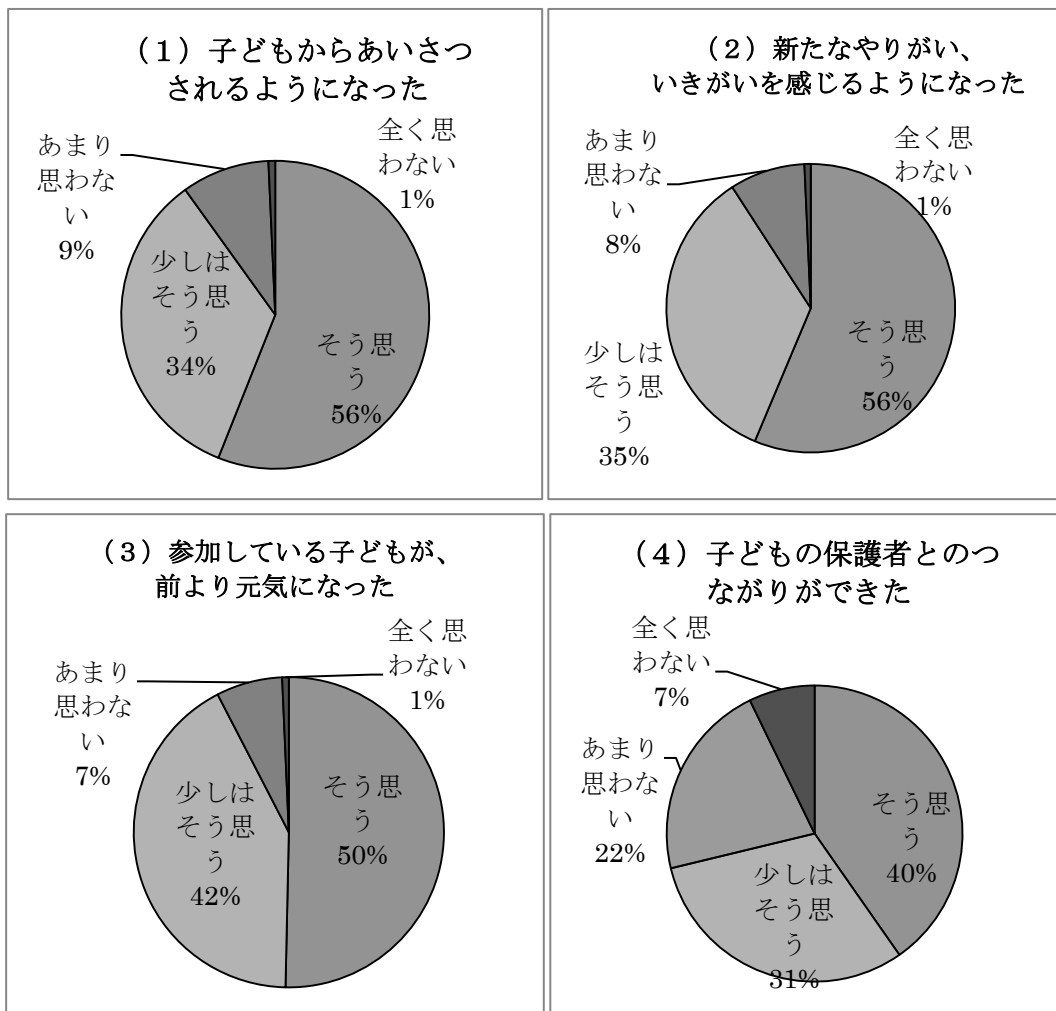
- ・安心して子どもを預けられている。(ボランティアの方に子育て経験があるし、室内のみで見てくれているため)ただ、いつもどんな風に過ごしているか具体的に見えない。
- ・月曜日だけでなく、他の曜日にもしてもらいたいです。
- ・教室後の帰りはお迎えになっているので、できれば11月から時間が変わらないで欲しい。
- ・子どもが学童に入っており、私自身教室とほとんど関わりがないので運営について全くわからない。

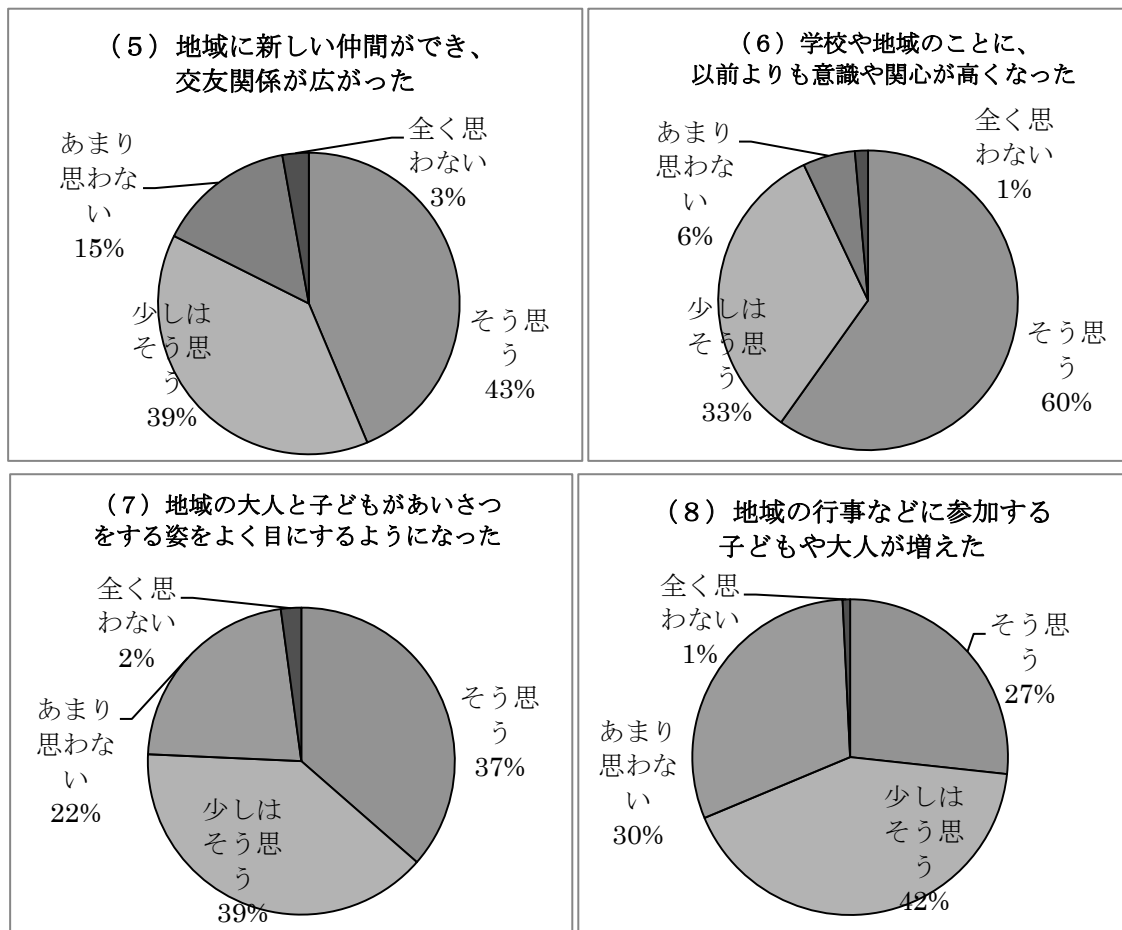
③ その他

- ・子どもの預かりをしてほしい
- ・子ども同士のトラブルに、ボランティアの方だけだと対応仕切れない部分も出てくる恐れがあるのが気になります。
- ・いつもお世話になっております。今年初めて参加し、毎回楽しく遊んでいる様子で、親としても参加させて良かったと思っています。ボランティアの方々にも感謝しています。ただ、遊具の中で危険を感じる遊具があります。上の子の迎えを待っている間に下の子が小学生と一緒に遊んでケガをしました。遊具の危険な部分等についてももう少し注意喚起が必要かと感じました。また、我が家には下の子(未就学児)が2人いて迎えにはいつも連れて行く状況なので、必ずしも迎えが必要なのかなとも感じます。
- ・「放課後子ども教室」がよくわかりません。(何のことなのかがわかりません) お世話になっているはずなのに申し訳ありません。

○ 調査3：安全管理員、学習アドバイザー対象

1 放課後子ども教室に参加してどうでしたか。





2 教室の運営について

《子どもの様子と子どもへの関わり方》

- ・あいさつはもっとできるように働きかけをしたい。
- ・知らない友達とペアを組ませたりして、仲良くさせる。
- ・とても子どもが元気で、こちらにも元気をもらっています。
- ・毎回、子どもとのふれあいが楽しいです。
- ・子どもの元気をもらっている。
- ・4月の新学期の頃より、子ども同士も私たちの関係もとても良くなったと思います。時々ついてきたりすることもあり、とても嬉しく思います。
- ・私も10年が過ぎ、子どもたちと楽しく過ごしています。
- ・子どもたち、私自身も楽しい1日です。
- ・子どもたちと触れあう時間は楽しい。子どもたちも友達と私たちへの言葉遣いを使い分けている。大人にはちゃんと敬語を遣ってくれます。
- ・元気をもらえて嬉しいです。今後も頑張りたい。
- ・子どもをよく見て、この子も自分のことと同じ目線で見接すること。また、楽しんで参加する。
- ・子ども達が同学年とだけ遊んでいる気がします。
- ・集合時(始まり・終わり)、静かになるまでに少し時間がかかりすぎる。ボランティアの方が前に立っていても効果がない。何か良い方法はないだろうか？
- ・我々スタッフが児童の自主性を尊重することを、はきちがえてわがままを見過ごしてはならないと思います。特に児童本人や他人にけがを及ぼすような行為は厳しく叱責する必要があります。会の始まるときと終わりには礼儀正しくさせましょう。道具の取り扱いは丁寧に、使ったものは本人に片付けさせること。教室を楽しみにする子は多いです。

- ・子どものためにも自分のためにも意義のある活動だと思っている。今後もできる限り協力して盛り立てていきたい。

《活動内容》

- ・充実しているので素晴らしいと思います。
- ・一回の活動にテーマのある日があると、より充実した時間になると思いました。
- ・地域の方の人材を生かした行事をなるべくやれたらと思います。
- ・子どもの興味のもてる内容でよい。
- ・もっと多くの子どもたちが参加して欲しいと思います。ですので、「もっともっと良い学習内容を」ととても楽しみです。
- ・料理の時は新しい参加者が増えて、保護者とのつながりも増えていっ 努力の甲斐があると思う。
- ・子どもたちの関心がどの辺りにあるのか、内容によって2分されるので、その辺をよく観察してできるだけ多くの子どもたちが参加できるような取組を考えていきたい。
- ・我が子が卒業してしまうと、小学校の情報など本当に入ってこなくなります。(町内の回覧板が唯一の情報源) 地域の大人を巻き込むような、大人も参加できるような企画があっても良いと思います。
- ・教室の中で知らないことやわからないものが出てきて、それらが説明できるものや、その物・実物などがあれば見せてあげたい。
- ・子どもは1つの遊びにあきやすい。自由に遊ばせているので充実感がほとんど無い。
- ・遊ぶ仲間がいつも決まっている。全員で一緒に遊ぶゲームをみんなで考えたい。
- ・子ども達がどういう遊びやゲームを希望しているのか子どもの意見を何らかの方法で聞いてみてはどうでしょうか？
- ・子ども達とだけでなく、ボランティアの皆さん同士の協力、ふれあいも兼ねて、月1回くらいの全体遊びを入れて行ってもよいと思う。

《運営》

- ・幅広く地域の方々に参加していただけることが充実していく事と思います。予算、決算のあり方や役割等など簡単な方法にすることを考えて欲しいです。運営の中心になる人の負担が軽くなる。誰でも出来る事が幅広く地域に広がっていく。と思っています。でも、それで学校側に仕事が回っていくということではないと思っています。
- ・障害のある児童や、対応に注意する児童等、毎年1～2名ずついるので、事前に担任の先生との情報交換が必要な感じもする。
- ・ボランティアの人数を増員したいので何か良い方法がありましたら教えてください。
- ・ボランティア（高校生）が充実していると思います。
- ・「始まりと終わりの挨拶の時、騒がしい」「整理整頓が悪い」等々、発言が相次ぎますが、“ではどうすれば改善できるか”の議論には至らないのをもどかしく思っています。議論をさらに進めるため、メンバーを7名程度選び、諸々の問題を検討し改善案をつくる「企画小委員会」を設置し、定期的開催して、その結論は、月末ミーティングの場で紹介し、実施に移せるようにして頂きたい。問題提起には熱心だが、“では、どうするか”まで進める組織であって欲しい。
- ・夏に行った県の研修会に参加したことが勉強になりました。多くのボランティアの方が参加すれば教室にかなり生かされると思います。

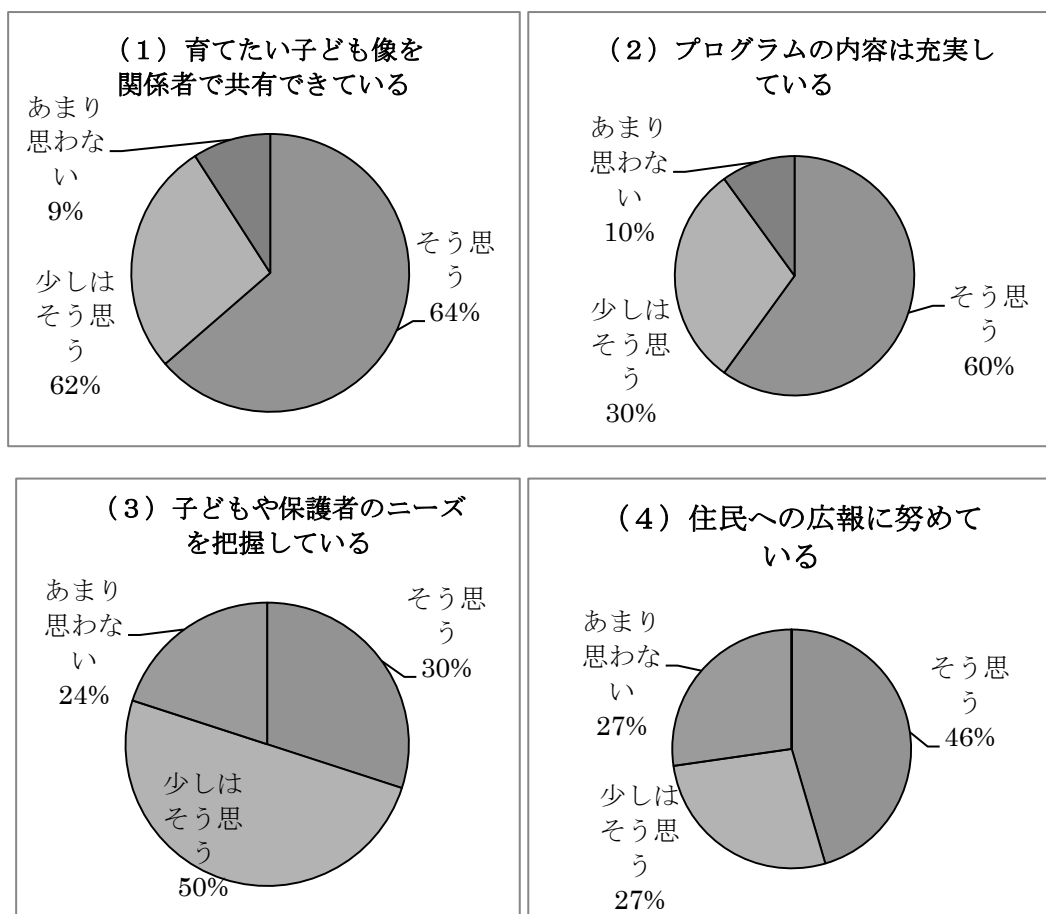
《その他》

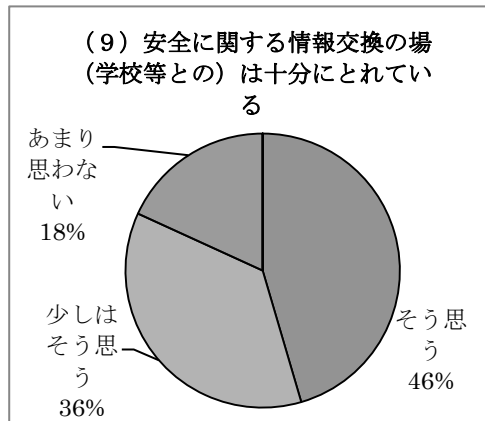
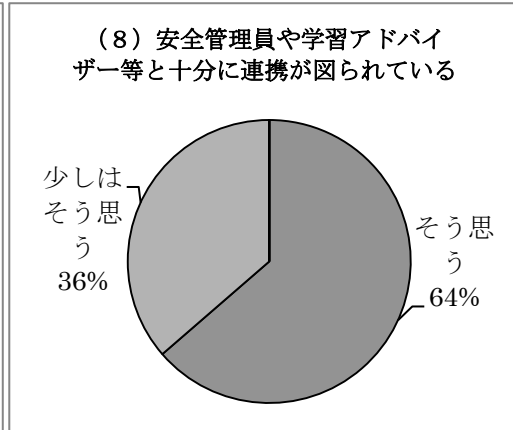
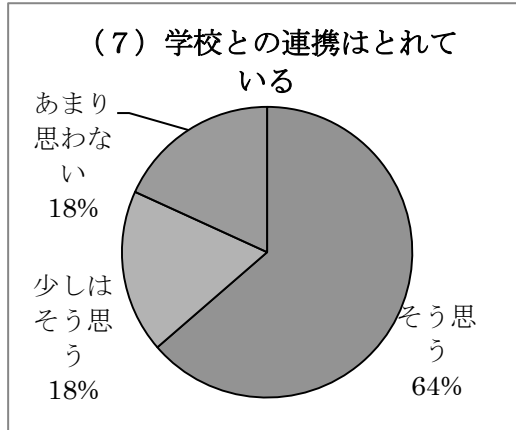
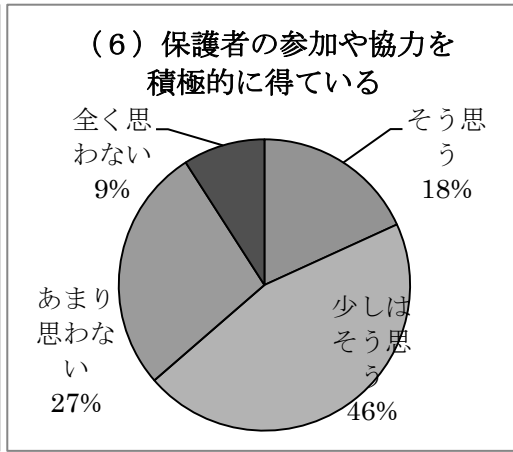
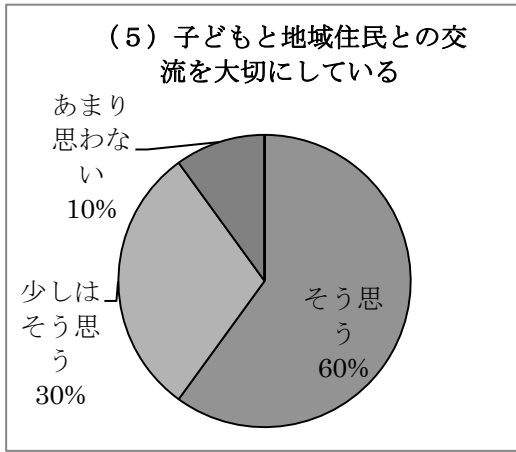
- ・支援者をふやしてほしい。
- ・保護者の方や子供達に生の意見をもらえるような機会があれば良いと思います。
- ・毎回楽しみです
- ・アドバイザー同士の交友関係が広がり、自分にとっても「学びの場」だと思って感謝しております。子どもたちと共に少しでも元気に学習していけたらと思っています。
- ・このままの状態継続していけばいいと思う。

- ・このアンケートですが、わからないものが多くあります。全部に（地域等について）関わっているものではないので、思う・思わないではなく、わからないものがあると思うのですが…「前より～」「以前より～」とはいつのことか、何年もやっていて毎年アンケートがありますが、アンケート内容項目が皆違っているのではないのでしょうか。1年目の人に聞いているのでしょうか。
- ・人数が少なくなる一方の件が心配になる。集団遊びができない方向にいつている。
- ・早めにこられるお母さんがいるなら、子ども達の動きを見て欲しい
- ・たまにはお母さん達も一緒に遊び合うことができればと思う
- ・放課後子ども教室の存在をまだまだ知らない保護者がいると思う。PR、知ってもらうための方法を考えたい。
- ・まだ始めたばかりで実感が余りありません。
- ・高学年になると参加者が減り残念です。保護者が教室・ボランティアの方をどう見ているかを知りたい。
- ・とても充実した教室だと思う。お手伝いすることにより指導員の大変さもよくわかりました。参加することにあたり最低でもその日の持ち物は必ず忘れずに用意していく！当たり前のことだが、それが守れるように徹底すべきかと。
- ・保護者の方々が、もっと教室に関心をもって丸投げでなく、少しでも協力できるようにしようという意識が大切。

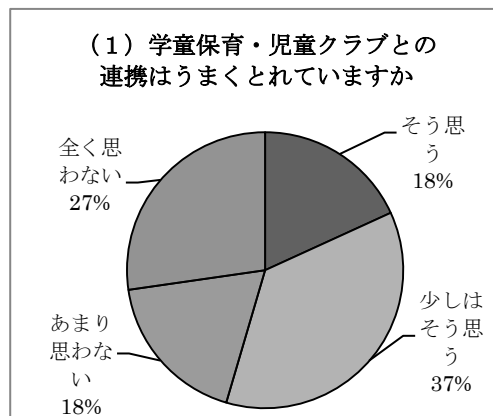
○ 調査4：担当者、コーディネーター対象

1 放課後子ども教室について



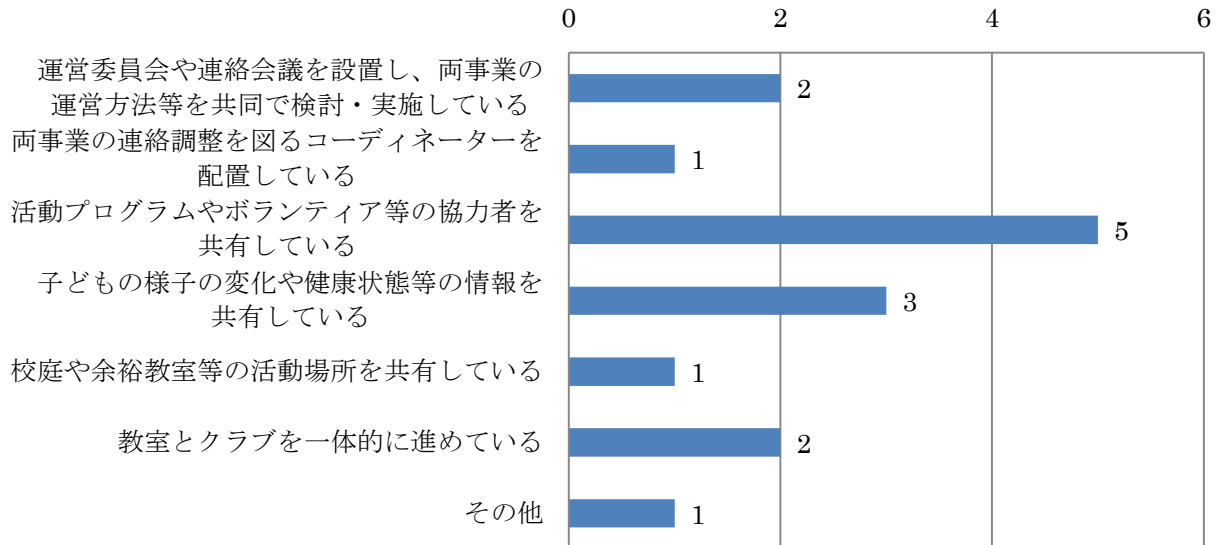


2 学童保育・児童クラブとの連携について



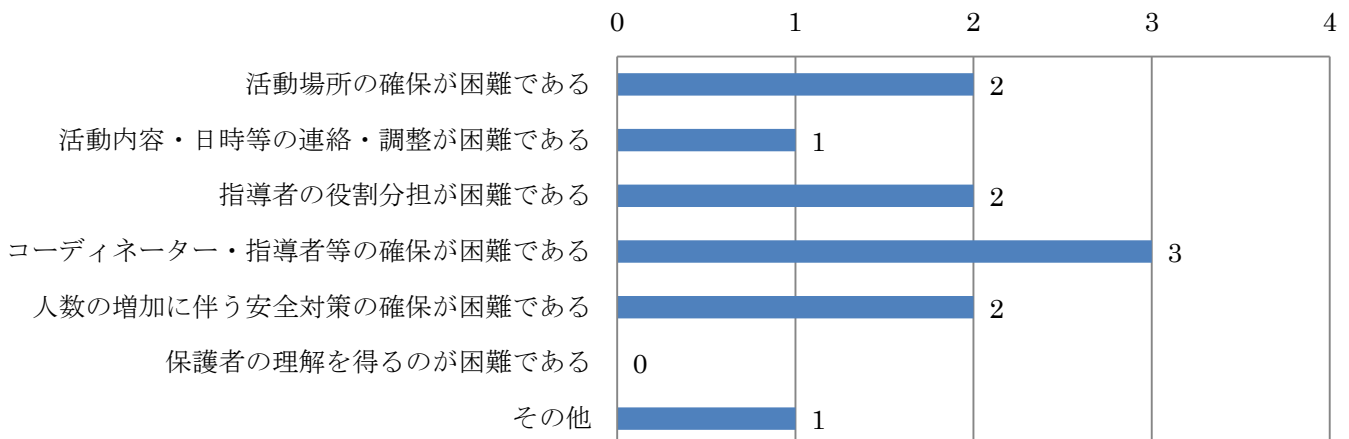
(2) どのような連携を図っていますか

(人)



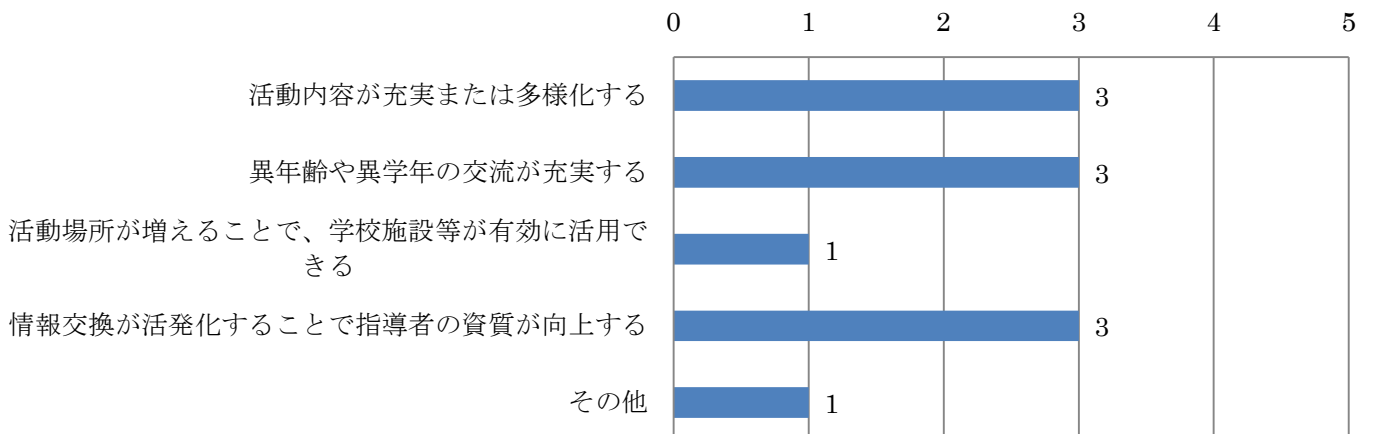
(2) 連携を進める上での課題は何ですか(複数回答可)

(人)

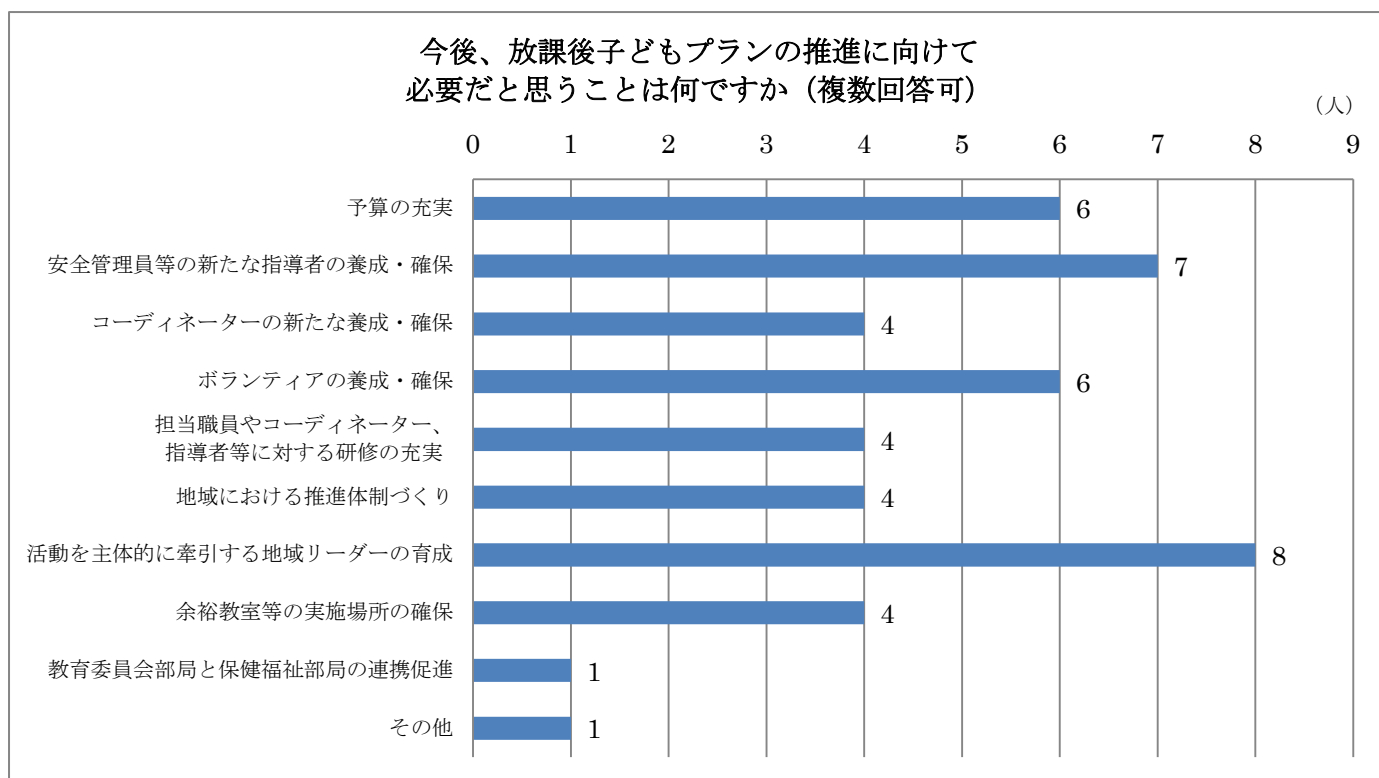


(3) 連携のメリットは何ですか

(人)



3 放課後子どもプランを推進する上で必要なこと



4 教室の運営について

- ・コーディネーターが地域にいる学校区は、学校と地域が協働した活動を行うことが可能であるが、主体が学校だったりすると、地域のやらされ感が強くなると思う。空き教室を使うのではなく、公民館や空き家などで行うようになれば、地域主導で活動できると思う。
- ・補助金について、コーディネーター、安全管理員、学習アドバイザーの区分けをなくし一律にするか、謝金を0円にして受益者負担での実施を認めて欲しい。
- ・当子ども教室は、放課後ばかりではなく年間を通して実施していますが、「フライングディスク」「竹細工で遊ぼう」などPTAの参加が少なくなり大変淋しい。ふれあいハイキングなども公民館で用意しているが、少子化の時代もあるが保護者の参加が少なくて残念です。
- ・料理等で地域の方から材料を提供してもらうことがある。できれば菓子折り等で御礼をしたいが、そうした運用のできる予算がない。謝金の充実よりも活動費として自由に使えるお金がほしい。
- ・安全管理員と学習アドバイザーの単価の違いと低さ。安全管理員の単価が学習アドバイザーの単価よりも低いのは、役目・役割が軽いためと思われると思います。また、ボランティアの方や「教室」によってばらつきがありますが、中には教室の時間以外に教室の事前準備など行っていたりしている方もいますので、それに見合う単価を検討する必要があると思います。
- ・教室のプログラムの充実のため、自由遊びに加えて定期的にイベントを企画するようになったが、教室の運営に携わるスタッフの年齢層が高いため、体力的な面で実現できる企画の内容は限られてくる。参加者（児童）のニーズを活動に反映させるためにも、保護者世代に加えて学生のボランティアの獲得が急務となっている。
- ・子ども達の自由活動（遊び）と一斉活動（全体遊び）のバランスのとり方。
- ・謝金について、安全管理員、学習アドバイザーの補助上限を見直して欲しい（高く）。コーディネーターの謝金も補助対象として欲しい。
- ・研修については、場所は総教センターで良いが、開始時刻を9時から10時に遅らせて欲しい。

教室における活動のけん引役を担う地域リーダーの育成が最も求められていることがわかった。また、アンケートの記述にもあるように、教室の運営により多くの保護者や地域の方々に関わって頂けるかが課題であり、その為の工夫が必要であることもわかった。そのためには、今後とも、放課後子ども教室の理念や趣旨等を、広く普及・啓発していく必要がある。

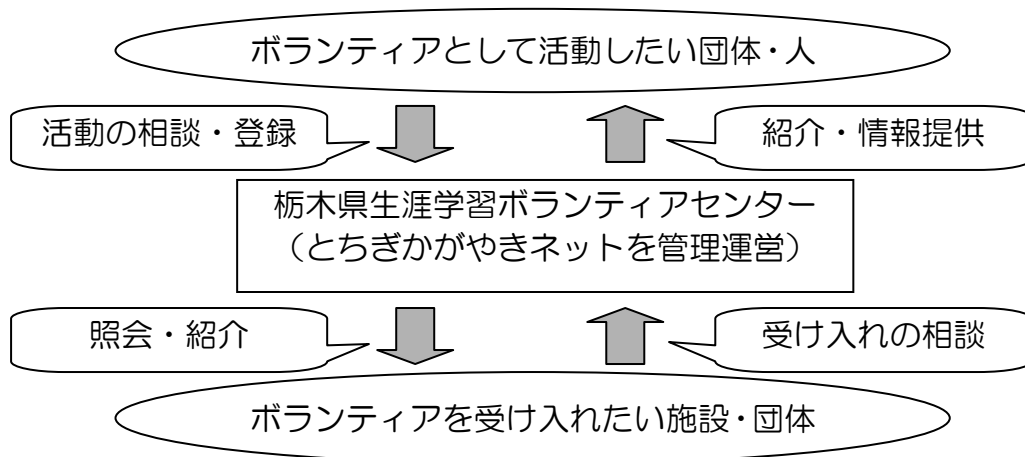
【栃木県生涯学習ボランティアセンターについて】

ボランティアの登録・紹介は

栃木県生涯学習ボランティアセンター

へお問い合わせください。

栃木県生涯学習ボランティアセンターでは、こんなことをしています！



生涯学習ボランティアセンターは

『**体験活動ボランティア活動支援センター**』を

併設しています！

○子どもや青少年の体験活動・ボランティア活動を支援します



とちぎかがやきネットからも検索できます！

(栃木県生涯学習ボランティア活動支援情報提供システム)

<http://www.tochigi-edu.ed.jp/rainbow-net/kagayaki/>

からどうぞ！

<問い合わせ先>

栃木県生涯学習ボランティアセンター

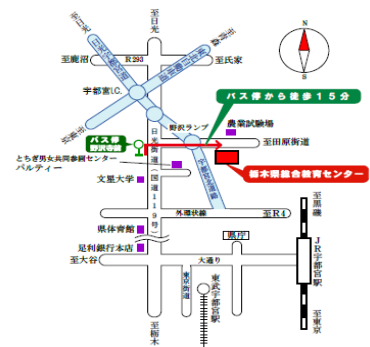
〒320-0002

栃木県宇都宮市瓦谷町 1070 番地

(栃木県総合教育センター内)

TEL : 028-665-7207

FAX : 028-665-7219



地域で広がる子どもの未来③

平成25年度 とちぎ放課後子ども教室推進事業 実践事例集

平成26年3月発行

編集・発行 栃木県教育委員会

〒320-8501

栃木県宇都宮市塙田1丁目1番20号

TEL 028-623-3404

FAX 028-623-3406

☆この事例集は栃木県のホームページからも御覧いただけます

<http://www3.pref.tochigi.lg.jp/m06/houkagojirei.html>

栃木県庁トップページ → 教育・文化 → 生涯学習推進

→ ふれあい学習 → 放課後子ども教室推進事業